SONY

4-075-712-**02** (1)

液晶カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MEMORY STICK ™

FDL-1500MX1

目次

テレビを見る

「メモリースティック」を使う

パソコンの画像を見る

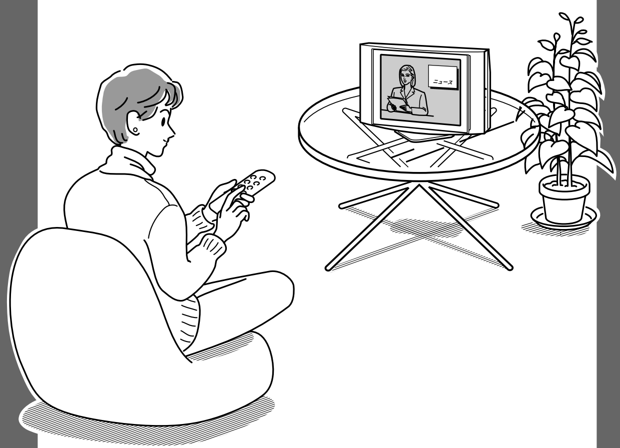
接続と準備

他機との接続

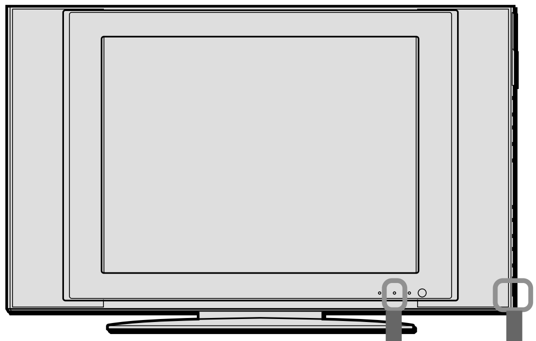
その他

テレビを見る

ここでは、通常のテレビ番組をはじめ、ビデオ、テレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
画質を選んだり、節電しながら見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。
テレビの接続およびチャンネルの設定は「接続と準備」（☞35〜42ページ）をご覧ください。

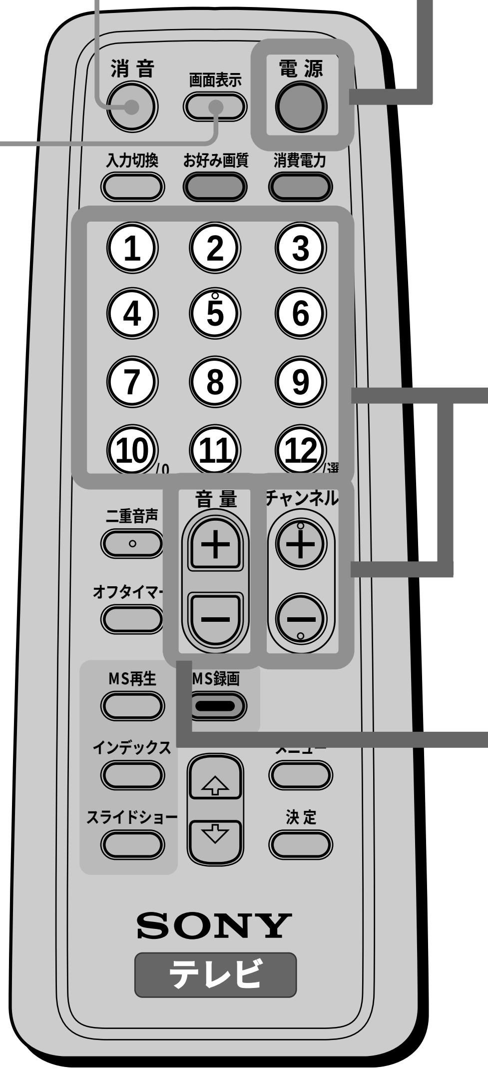


テレビ番組を見る



消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

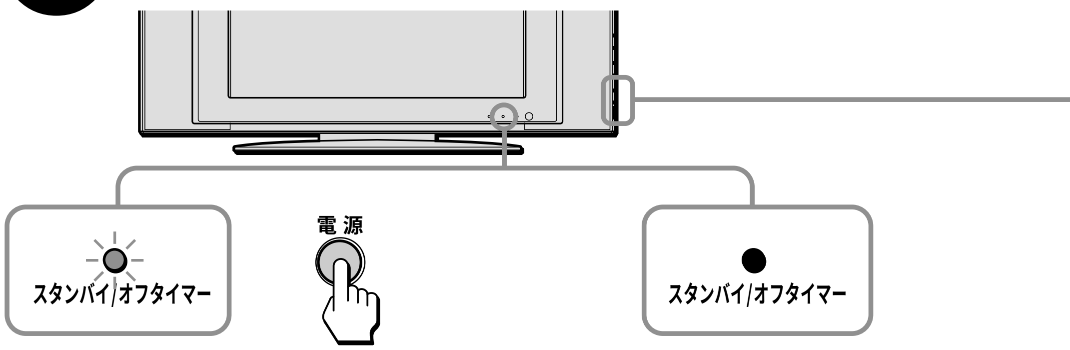


チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

ちょっと一言

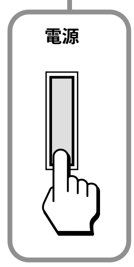
- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1 テレビの電源を入れる。



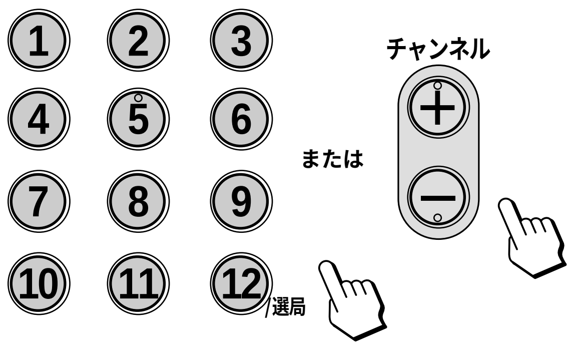
スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
本体の電源スイッチを押す。



2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

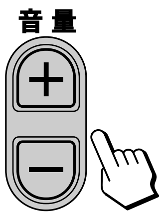
チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。



3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

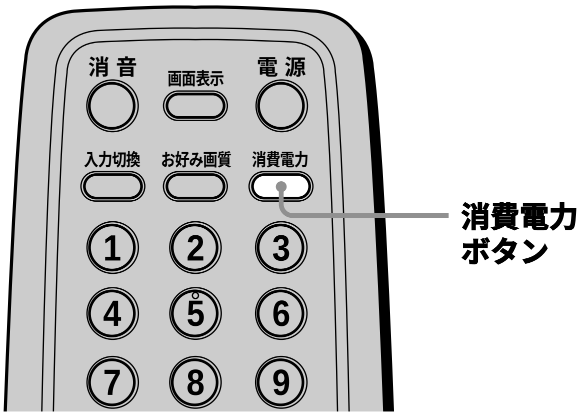
音量表示の横にある数値も調節の目安になります。



節電しながら見る

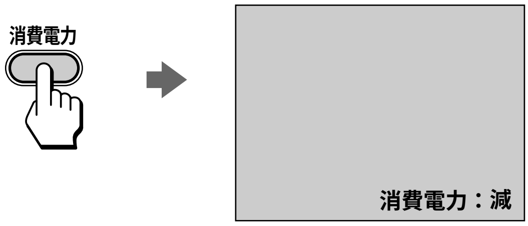
（消費電力）

画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。



消費電力ボタンを押す。

節電中になります。



節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

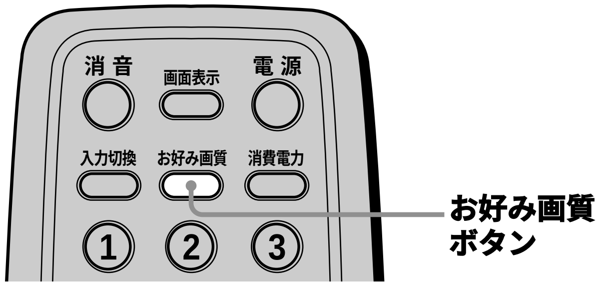
ちょっと一言

- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。
- お好み画質で「リビング」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます（☞8ページ）。

画質を選ぶ

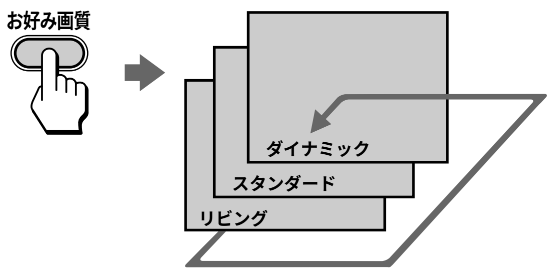
（お好み画質）

お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。
また、「リビング」を選ぶと、画質をより細かく調整できます（☞8ページ）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。



お好み画質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように変わります。



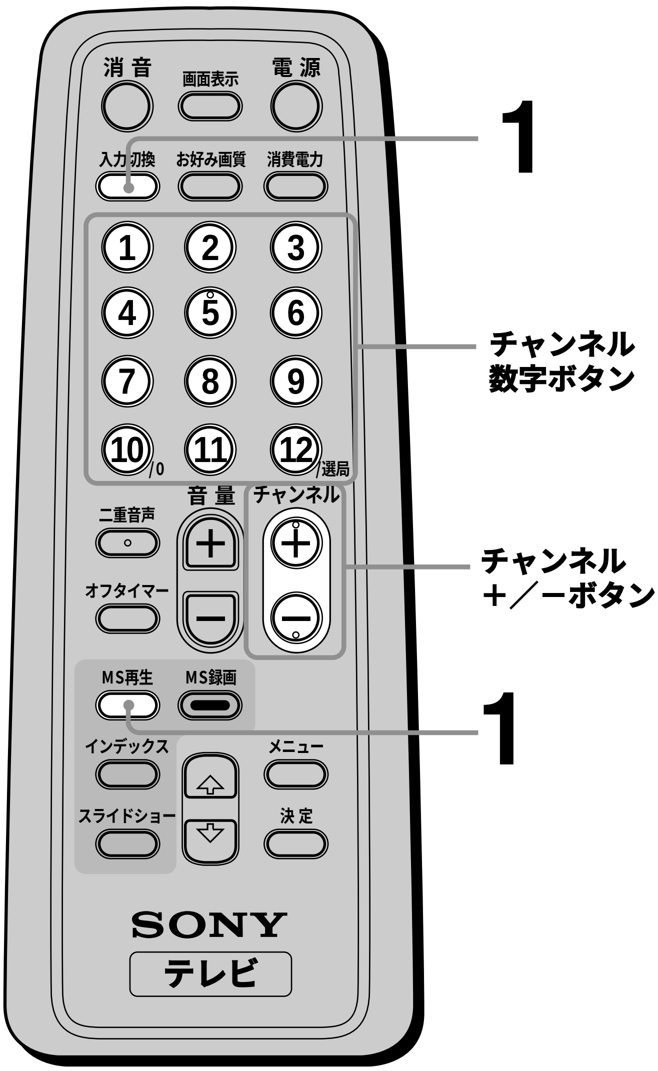
ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大にしたメリハリの非常に強い画質になります。

スタンダード
明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある画質になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます（☞8ページ）。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた画質になります。

テレビにつないだ機器の画像を見る
（入力切換）

入力を切り換えて、テレビにつないだパソコンやビデオ機器、テレビゲーム、デジタルCS放送などの画像を見ることができます。
接続のしかたについては、☞43〜51ページをご覧ください。
AVマルチ入力の画像の左右位置調整は☞49ページをご覧ください。



1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。「メモリースティック」を再生するにはMS再生ボタンを押します。

押すたびに	以下につないだ機器または「メモリースティック」の画像になります。	画面表示も変わります。
入力切換	• ビデオ入力端子 • コンポーネント入力端子 • AVマルチ入力（ゲーム）端子 • PC/RGB入力端子	ビデオ* ← ↓ Dコンポーネント ↓ AVマルチ ↓ PC/RGB ↓ チャンネル番号（テレビ）
MS再生	•「メモリースティック」	MS

* S映像端子につないでいるときは、「Sビデオ」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

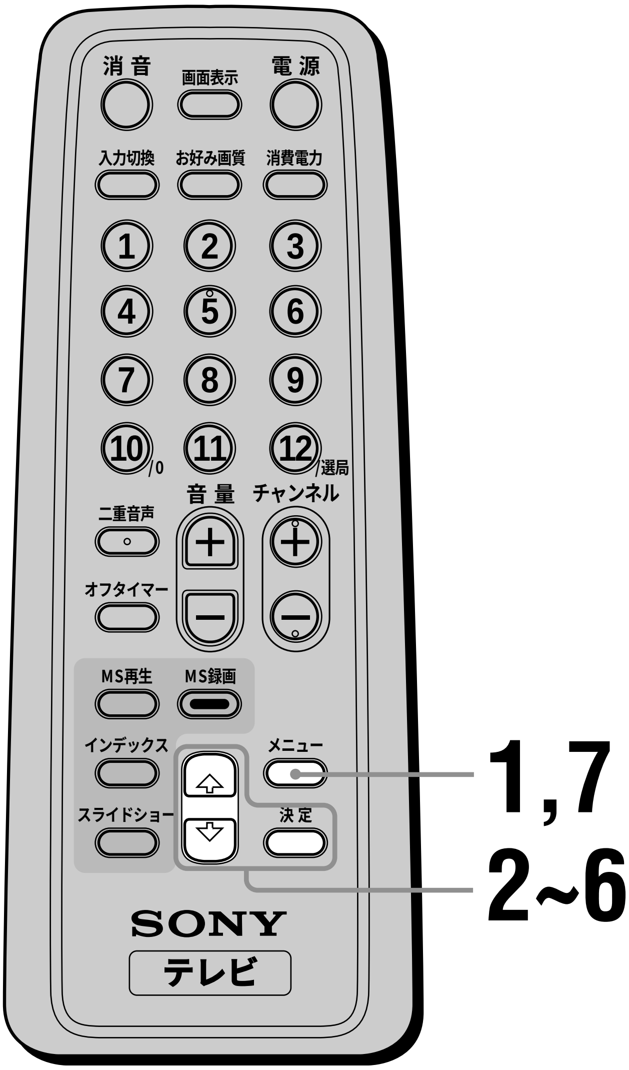
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/−ボタンを押す。

ちょっと一言

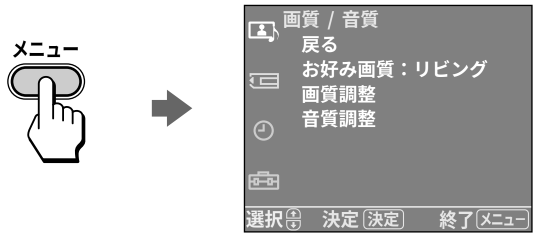
本体の入力切換ボタンを繰り返し押しても、入力を切り換えられます。
また、「メモリースティック」の画像は、本体のMS再生ボタンを押して表示させることもできます（☞60ページ）。

画質を調整する

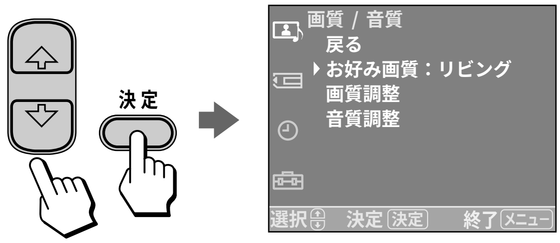
画質は、入力切換ボタンで選べる各入力ごとに設定できます。
設定された値はお好み画質の「リビング」の設定として保存されます。



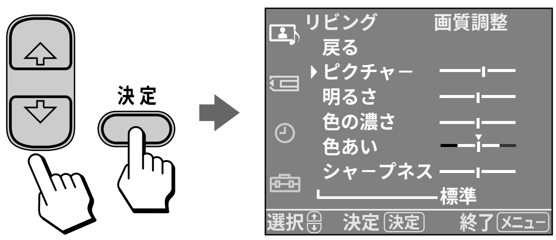
1 メニューボタンを押す。



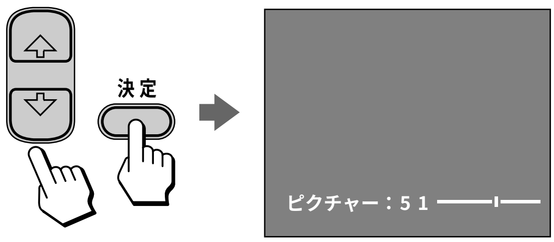
2 ↑/↓で「（画質/音質）」を選び、決定ボタンを押す。



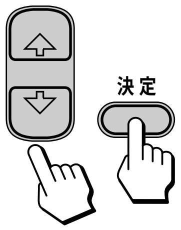
3 ↑/↓で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。

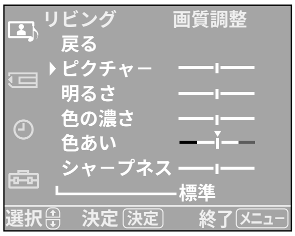


4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。





項目	↑を押すと	↓を押すと
ピクチャー	明暗の差が大きくなる	明暗の差が小さくなる
明るさ	明るくなる	暗くなる
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色あい	緑がかる	赤みがかる
シャープネス	映像の輪郭がくっきりする	映像の輪郭が柔らかくなる

ちょっと一言

調節バーの横に表示される数値も調節の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

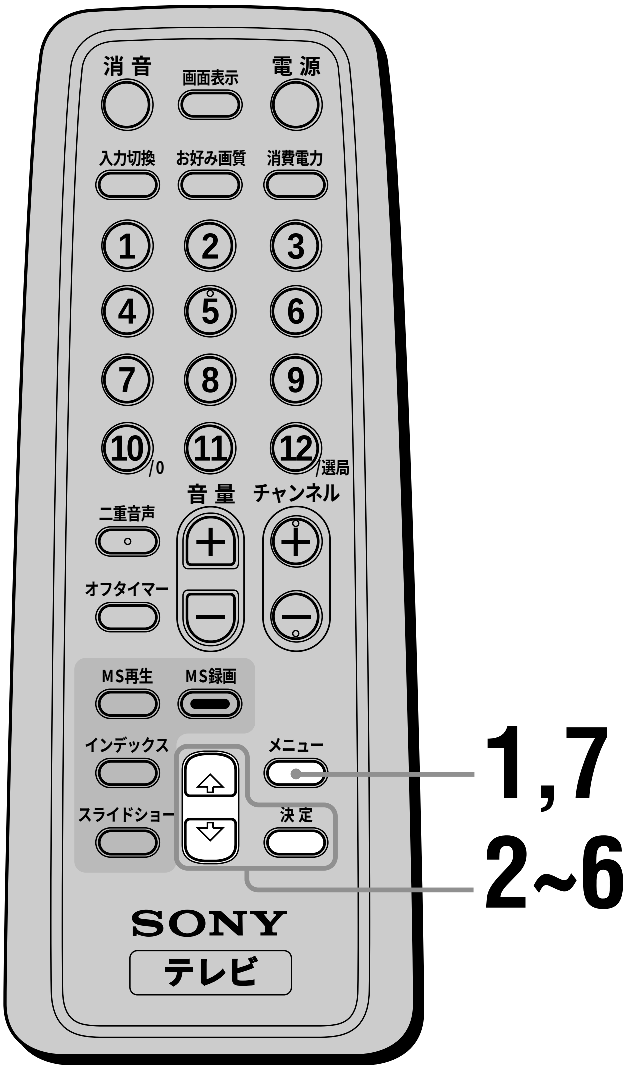
手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

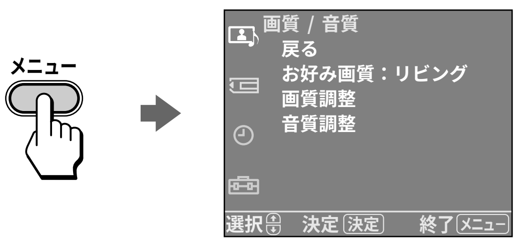
- 「ダイナミック」と「スタンダード」（☞6ページ）は、画質変更できません。
- テレビ、ビデオ以外の入力のときは「色の濃さ」や「色あい」、「シャープネス」を調整できません。

音質を調整する

音質は、入力切換ボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

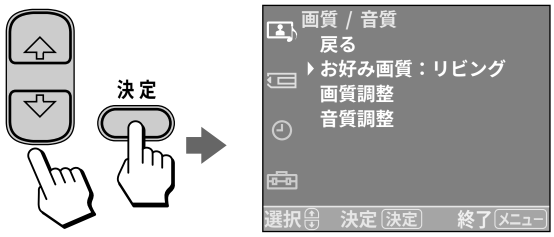


1 メニューボタンを押す。

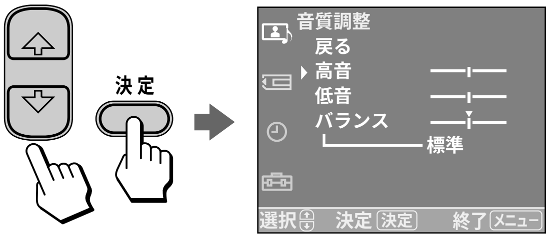


次のページにつづく

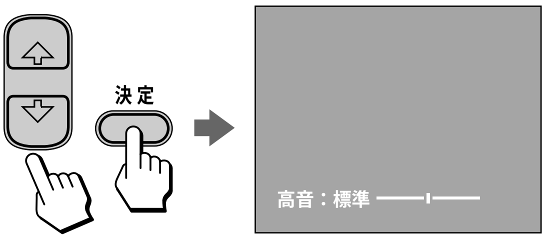
2 ↑/↓で「 (画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。



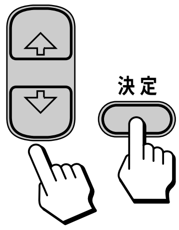
3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。



項目	↑を押すと	↓を押すと
高音	強くなる	弱くなる
低音	強くなる	弱くなる
バランス	右スピーカーの音が大きくなる	左スピーカーの音が大きくなる

ちょっと一言

調節バーの横に表示される数値も調節の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

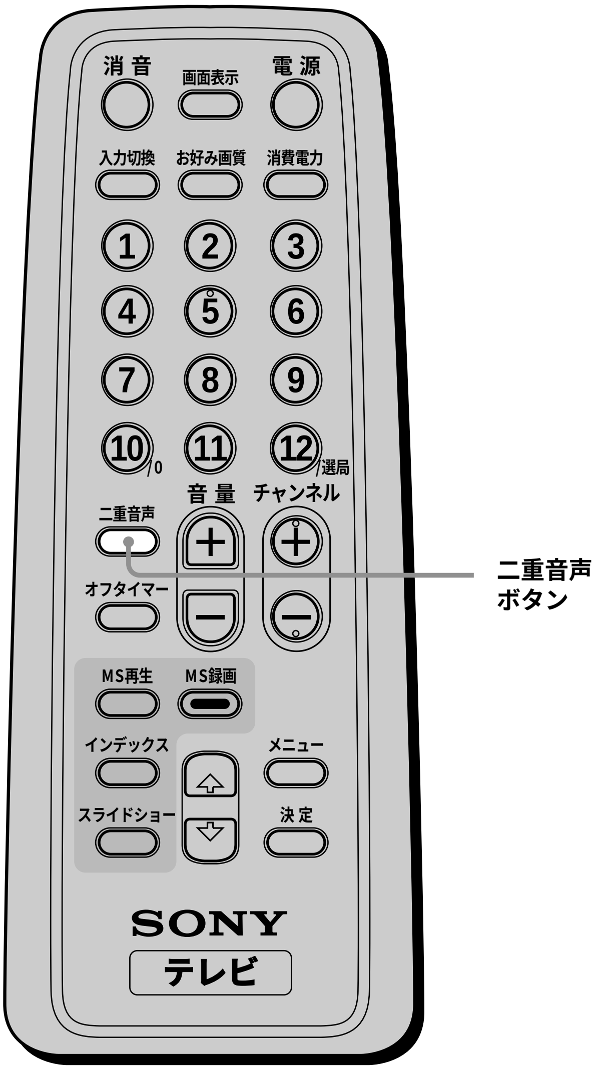
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

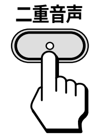
音声を切り換える
（二重音声）

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。



二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。



画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声



例:「主/副」を選んだとき

ちょっと一言

メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「（各種設定）」から「音声設定」を選び、「二重音声」を切り換えてください。

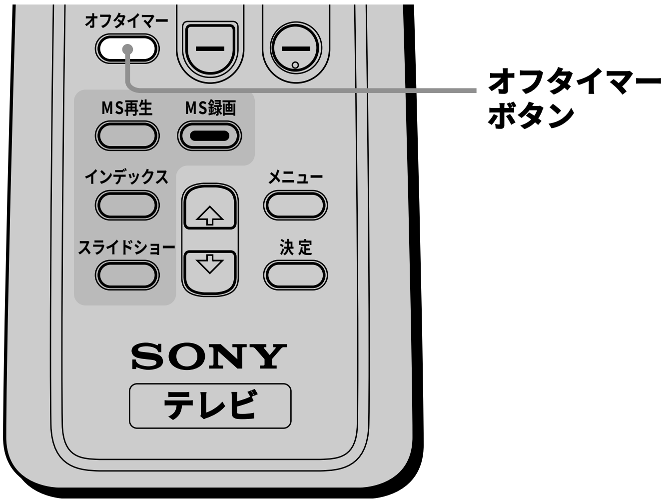
VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **「オートステレオ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

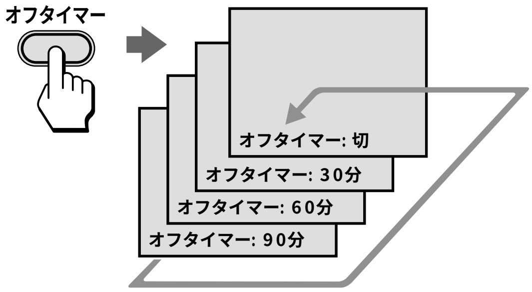
自動で電源を切る
（オフタイマー）

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。



オフタイマーボタンを押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。



オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

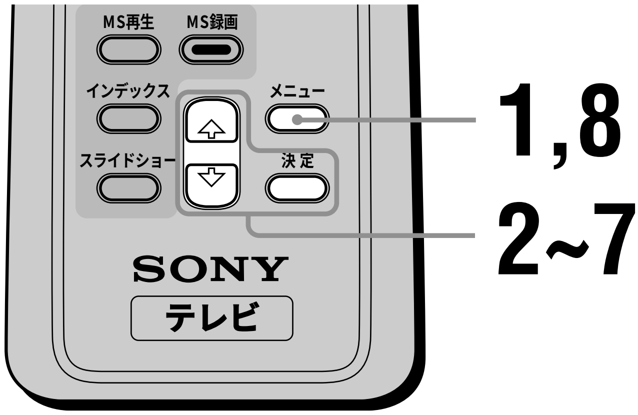
ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例:「オフタイマー:あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「◷（タイマー）」から「オフタイマー」を選び、時間を選んでください。

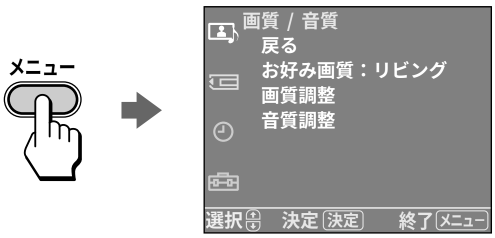
時刻を設定し表示する

日付と時刻を合わせて、画面に表示できます。

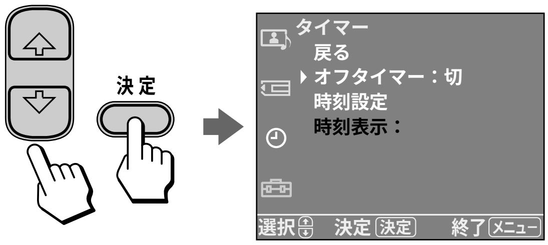
「メモリースティック」を使いテレビ番組を静止画録画するときに、時刻設定が必要になります。☞17ページ



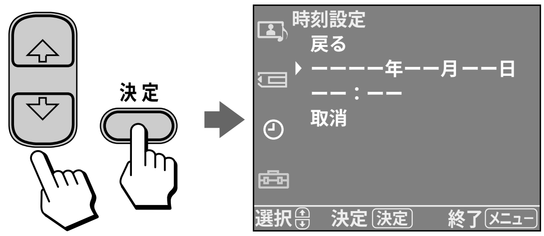
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「◷（タイマー）」を選び、決定ボタンを押す。

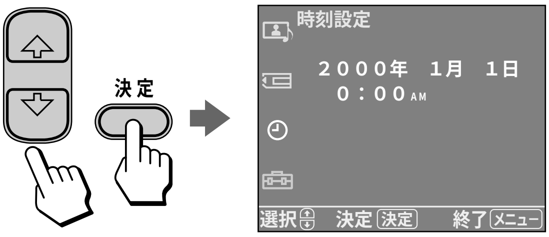


3 ↑/↓で「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 「－－－－年－－月－－日」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

「－－－－年－－月－－日」が選ばれていないときは、↑/↓で選びます。



5 年/月/日/時刻を設定する。

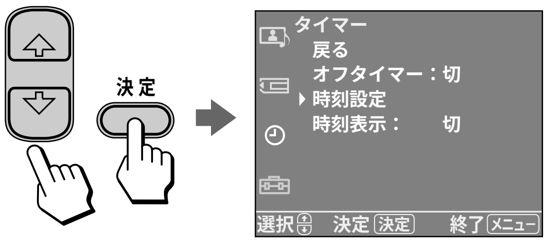
① ↑/↓で年を選び、決定ボタンを押す。
年は西暦2000年以降が表示されます。

② ↑/↓で月を選び、決定ボタンを押す。

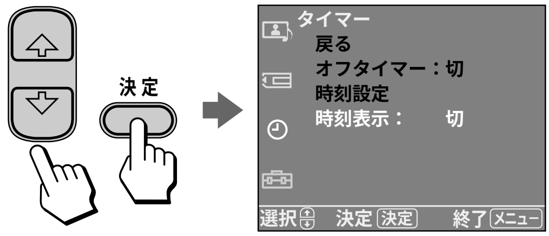
③ ↑/↓で日を選び、決定ボタンを押す。

④ ↑/↓で「時」を選び、決定ボタンを押す。

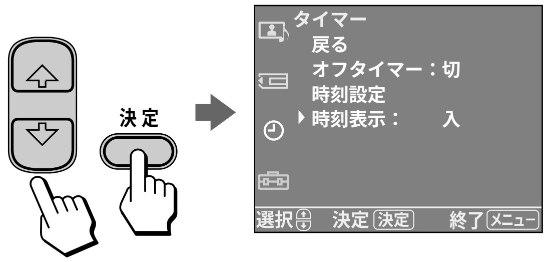
⑤ ↑/↓で「分」を選び、決定ボタンを押す。
昼の12時は「0:00PM」、夜の12時は「0:00AM」と表示されます。



6 ↑/↓で「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。



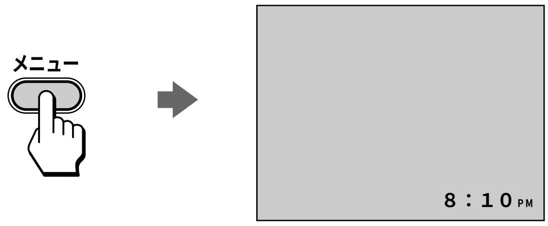
7 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。



時刻表示を出さないときは「切」を選んでください。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

画面に時刻が表示されます。

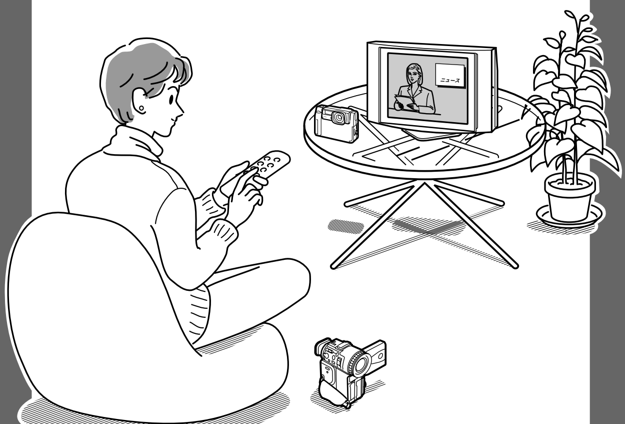


ご注意

- メニューを表示しているときや一覧表示画面などを使用しているときは、時刻が表示されない場合もあります。
- 電源コードを抜くと、「MS録画」のときに「メモリースティック」に記録される日時が「2000年1月1日0:00AM」（お買い上げ時の設定）に戻ります。

「メモリースティック」を使う

ここでは、「メモリースティック」に記録されている静止画像を見る操作と、テレビ番組を静止画像として録画する操作について説明しています。
また、「メモリースティック」に記録されている静止画像の一覧表示（インデックス）や、表示される画像の自動切り換え（スライドショー）の操作も説明しています。



「メモリースティック」について

「メモリースティック」アクセスランプが点滅または点灯中に電源コードを抜くと、「メモリースティック」が破損することがあります。

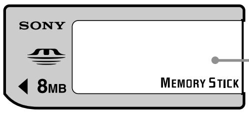
「メモリースティック」（“Memory Stick”、本機では「MS」と省略）は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。「メモリースティック」対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。
別売りの「メモリースティック」を使って、テレビ番組の静止画を記録したり、デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーなど「メモリースティック」対応機器で記録した静止画データをテレビで見ることができます。

「メモリースティック」の種類

「メモリースティック」には、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「マジックゲート メモリースティック」と、搭載していない一般の「メモリースティック」の2種類があります。**本機では、「マジックゲート メモリースティック」と一般の「メモリースティック」のどちらもご使用いただけます。**

ご注意
ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

「メモリースティック」についてのご注意



ラベルについて

- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。

取り扱いにつて

- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

使用場所について

- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

著作権保護技術:マジックゲートについて

マジックゲートは、「マジックゲート メモリースティック」に記録するデータの暗号化と、「マジックゲート メモリースティック」対応機器の相互認証の2つの技術を用いて、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐ技術です。マジックゲートは、「メモリースティック」と機器の両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。
デジタル音楽データを記録しようとすると、「マジックゲート メモリースティック」と機器が「マジックゲートに対応しているか」を相互に確認します。お互いにマジックゲートに対応していることが確認された場合のみ、データを「マジックゲート メモリースティック」へ記録できます。データは記録時に暗号化されます。
記録されたデータを再生するときも同じように、「マジックゲート メモリースティック」と機器が相互に確認し、認証された場合のみ再生できます。

著作権について

あなたが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

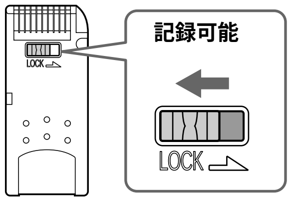
記録されている静止画像の保護について

大切な記録を誤って消してしまうことのないように、「メモリースティック」には、誤消去防止スイッチがついています。

記録可能

誤消去防止スイッチを左にスライドさせる。

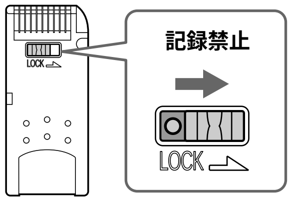
「メモリースティック」裏



記録禁止

誤消去防止スイッチを右にスライドさせる。
画像を見ることはできますが、新たに記録することはできません。

「メモリースティック」裏



静止画像について

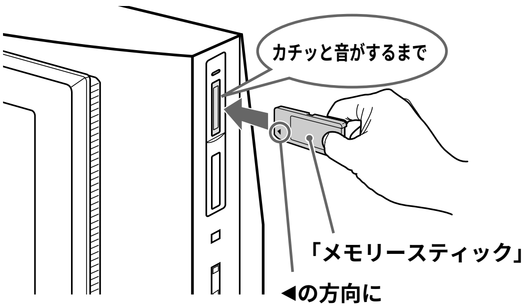
- 「メモリースティック」の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- 静止画像データの読み込み中、書き込み中（アクセスランプが点灯中）には「メモリースティック」を取り出さないでください。
- 以下の場合、静止画像データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に「メモリースティック」を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切な静止画像データは、パソコンなどを使って他の「メモリースティック」やハードディスクにコピーし、保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。
- 本機では「メモリースティック」への記録および、読み出した静止画像データの再生にJPEG方式を使用しています。
- JPEGでの記録・再生にはIJG（Independent JPEG Group）のソフトウェアを一部改訂して使用しています。

「メモリースティック」の静止画像を見る（MS再生）

「メモリースティック」にJPEG形式で記録されている静止画像をテレビの画面で見ることができます。

「メモリースティック」を入れる

「メモリースティック」を本体右側面にある差込口にしっかり入れる。

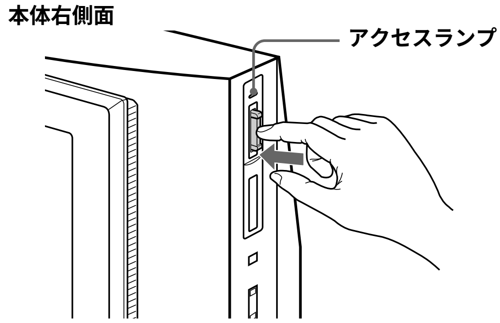


ご注意

- 「メモリースティック」は◀の向きに入れてください。逆向きに無理に入れると差込口が破損することがあります。
- 故障の原因となりますので「メモリースティック」の差込口には「メモリースティック」以外の異物を入れないでください。

「メモリースティック」を取り出すには

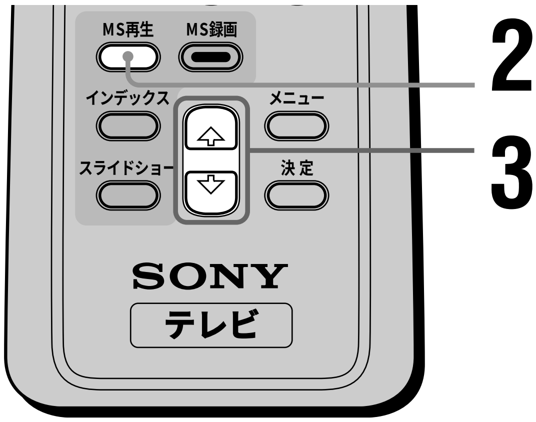
「メモリースティック」を奥に押す。
「メモリースティック」が出てきます。



ご注意

- 「メモリースティック」を取り出すときは、アクセスランプが赤色に点滅していないことを確認してください。またアクセスランプが点滅中に本機の電源スイッチを押したり、電源が入ったまま電源コードを抜くと「メモリースティック」が破損する場合があります。
- 「メモリースティック」の画像削除中や「メモリースティック」をフォーマット中は、「メモリースティック」保護のため電源は切れません。

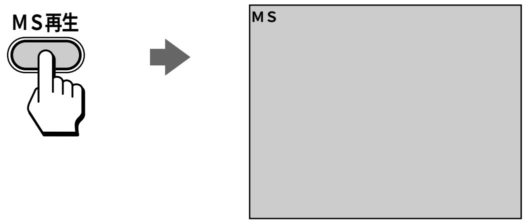
画像を見る（MS再生）



1 **「メモリースティック」を差込口に入れる。**

2 **MS再生ボタンを押す。**

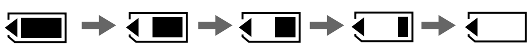
最後に記録した静止画像が表示されます。



ちょっと一言

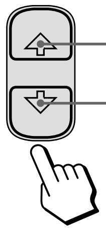
- 画面上に「メモリースティック」の残量の目安が表示されます。

80%以上　80〜45%　45〜25%　25%以下　なし



- 画像の再生は記録された年月日の順になります。
- 時刻設定を行わずに「MS録画」すると画像の記録順が入れ換わる場合があります。（☞12、13ページ「時刻を設定し表示する」）

3 ⬆/⬇で次の画像を表示する。



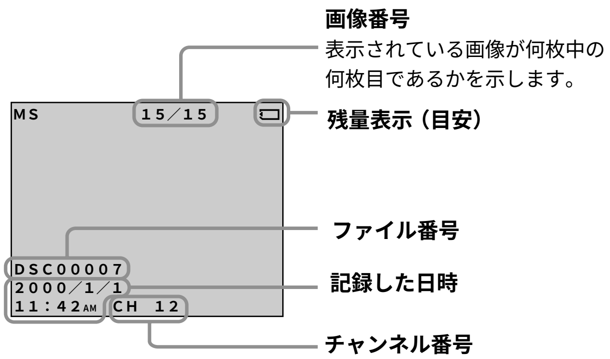
ちょっと一言
最後の画像が表示されている時に⬇を押すと、1番初めの画像に戻ります。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/ーボタンを押す。

画面表示を出すには

画面表示ボタンを押す。



画面表示を消すときはもう一度画面表示ボタンを押してください。

ご注意

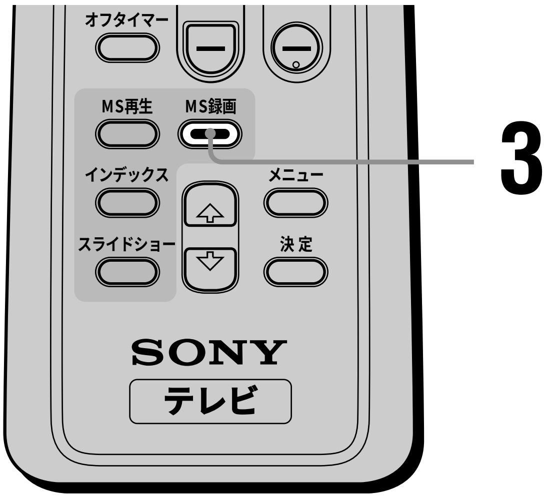
- 1024×768ドット以上の大きいJPEG画像は、そのまま表示すると画面に入り切らないため、本機では1024×768ドットに縮小して表示します。また、640×480ドットや800×600ドットなどの小さい画像は1024×768ドットの大きさに拡大し、全画面で表示します。
  画像を拡大、縮小することで、元の画像の画質と差が出ることがありますが、故障ではありません。
- 本機で「メモリースティック」に録画された静止画像は（社）日本電子工業振興会の規格（Design rule for Camera File system）に対応しています。この規格に対応していないデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900やデジタルスチルカメラDSC-D700/D770などで記録された静止画像も再生できます。
- パソコンで加工した静止画像は本機で再生できない場合があります。
- 本機ではJPEG形式以外の圧縮方式を使った静止画像や、デジタルスチルカメラDSC-D700/D770やDSC-S70/50/30などで採用されているTIFF形式などの圧縮されていない静止画像は再生できません。

テレビ画面を静止画で録画する（MS録画）

テレビ番組の画面を「メモリースティック」にJPEG形式の静止画で録画できます。

ご注意

- 静止画像の録画と同時に録画したときの年月日、時刻及びチャンネル番号を「メモリースティック」に記録しますので、あらかじめ本機のメニューで年月日、時刻及びチャンネル設定を行ってください。（☞12ページ「時刻を設定し表示する」、☞38ページ「手順2:チャンネルを設定する」）
  設定しない場合は「2000年1月1日0:00AM」の日時になります。チャンネル番号は画面に表示される番号になります。
- 電源コードを抜くと、「メモリースティック」に記録される日時は「2000年1月1日0:00AM」（お買い上げ時の設定）に戻ります。
- 誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは録画できません。



1 静止画で録画したいテレビ番組を映す。

2 「メモリースティック」を差込口に入れる。

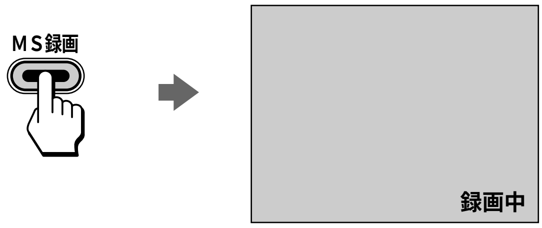
（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

次のページにつづく

テレビ画面を静止画で録画する（MS録画）（つづき）

3 **MS録画ボタンを押す。**

テレビ番組の画像が一瞬止まり「録画中」と表示されます。
MS録画ボタンを押したときの画像が静止画として録画されます。



ちょっと一言

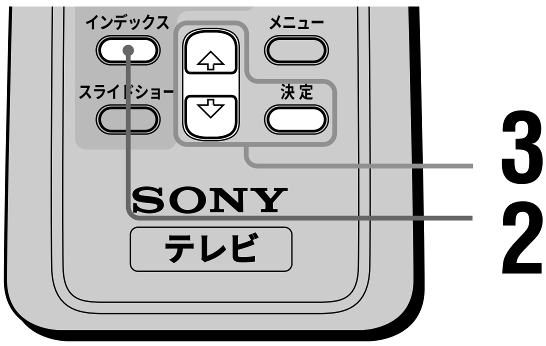
- 本機で何も記録されていない「メモリースティック」に録画できる静止画像の枚数は下の表のようになります。

「メモリースティック」の容量	録画できる静止画像枚数
4Mバイト	約50〜60枚
8Mバイト	約100〜120枚
16Mバイト	約200〜240枚
32Mバイト	約400〜480枚
64Mバイト	約800〜960枚

- 本機を使いテレビ番組を静止画像で録画する場合、全て640×480ドットのJPEG形式で録画します。本機で録画した静止画像を再生する場合は、1024×768ドットの大きな画像に拡大され、全画面で表示されます。
- 本機ではテレビ（VHF/UHF/CATV）以外の入力からの画像を録画できません。
- 動きの激しい静止画像を録画すると再生画像の一部が乱れることがあります。

静止画像を一覧表示する（MSインデックス）

「メモリースティック」に記録されている静止画像を20枚ずつ一覧表示できます。

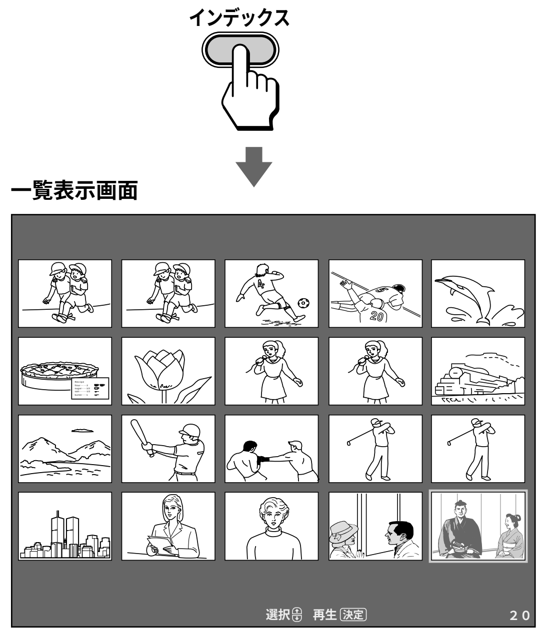


1 **「メモリースティック」を差込口に入れる。**

（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

2 **インデックスボタンを押す。**

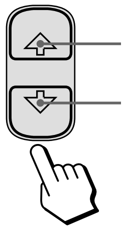
「メモリースティック」に入っている静止画像を20枚ずつ一覧表示します。



画面右下の「再生」は「メモリースティック」再生のことです。

20枚以上の画像があるときは

⬆/⬇でカーソルを最初または最後の画像まで移動させ、もう一度⬆/⬇を押す。



前の20枚が一覧表示されます。

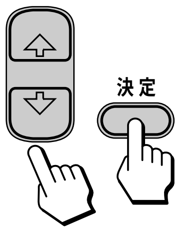
次の20枚が一覧表示されます。

ご注意

- 一覧表示の最後に表示される静止画像の枚数や、記録されている静止画像の枚数が20枚未満の場合、その枚数分だけ表示されます。
- パソコンで加工した静止画像や他機（デジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900、デジタルスチルカメラDSC-D700/D770など）で記録した静止画像は一覧表示ではグレーの画面になります。

3 ⬆/⬇で全画面で表示させたい画像の上にカーソルを移動させ、決定ボタンを押す。

選んだ画像が全画面表示（再生）されます。



一覧表示画面に戻すときは

インデックスボタンを押す。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

ご注意

- 回転を設定していても一覧表示画面では、回転させた状態では表示されません。回転については「静止画像の向きを90°回転させる」☞22ページをご覧ください。
- インデックスボタンを押して一覧表示しているときに、メニューボタンを押すと、最後に再生または録画した画像を再生します。
- インデックスボタンから一覧表示をしてメニューボタンを押した場合、メニューを操作できるようになるまで、数秒かかる場合があります。

メニューから一覧表示するには

一覧表示画面はメニューでも表示することができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ⬆/⬇で「(メモリースティックMS)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「インデックス」を選び、決定ボタンを押す。



4 ⬆/⬇で全画面で表示させたい画像の上にカーソルを移動させ、決定ボタンを押す。

選んだ画像が全画面表示（再生）されます。
決定ボタンを押さずにメニューボタンやMS再生ボタンを押すと、最後に再生または録画された画像が表示されます。

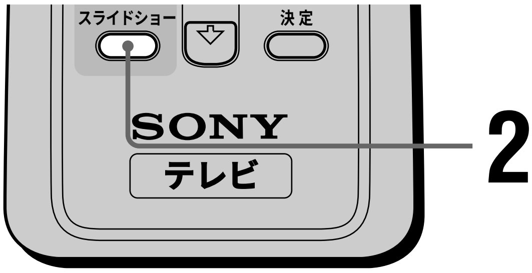
ご注意

インデックスボタンから一覧表示した場合とメニューから一覧表示した場合とでは、表示画面や操作が異なります。

静止画像を順番に自動表示する

（MSスライドショー）

「メモリースティック」に記録されている静止画像を一定の表示時間で順番に表示します。



1 **「メモリースティック」を差込口に入れる。**

（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

2 **スライドショーボタンを押す。**

画面に表示されている静止画像から始まります。

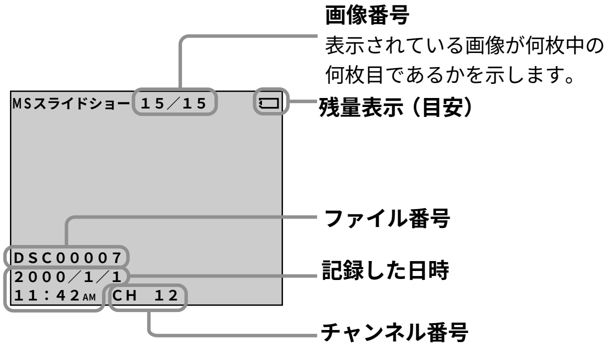


ちょっと一言

- 本機の電源を切るとスライドショーは終了し、スライドショーの設定は「スライドショー：切」に戻ります。
- スライドショー実行中でも↑/↓を押して画像を送り／戻しすることができます。

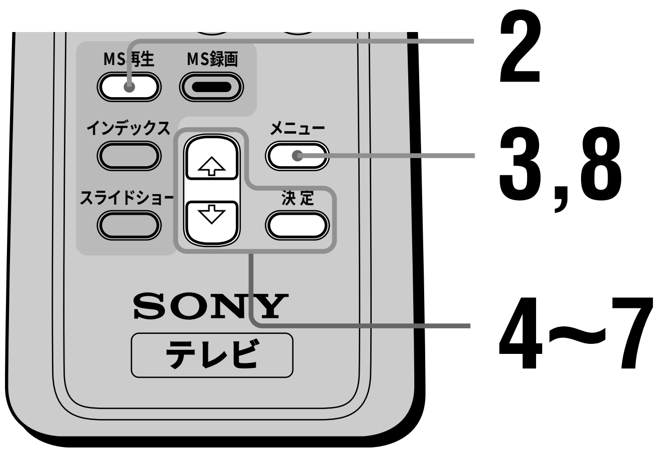
画面表示を出すには

画面表示ボタンを押す。



画面表示を消すときはもう一度画面表示ボタンを押してください。

スライドショーの表示間隔（表示時間）を設定するには

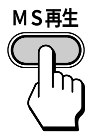


1 **「メモリースティック」を差込口に入れる。**

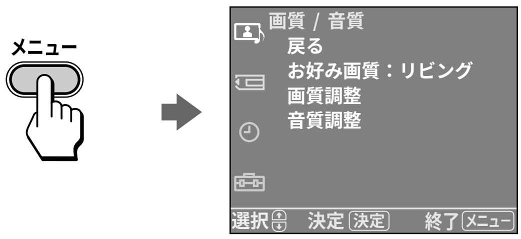
（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

2 **MS再生ボタンを押す。**

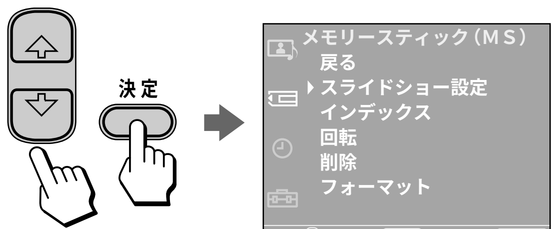
最後に記録した静止画像が表示されます。



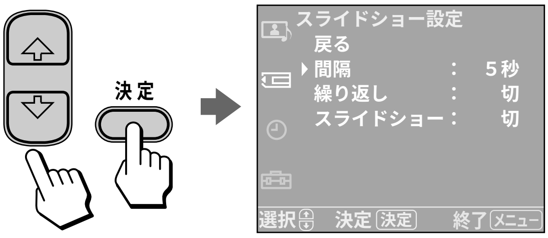
3 **メニューボタンを押す。**



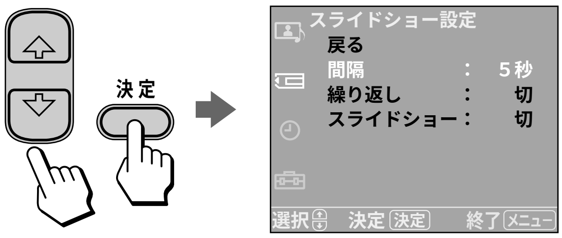
4 **↑/↓で「（メモリースティックMS）」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **↑/↓で「スライドショー設定」を選び、決定ボタンを押す。**



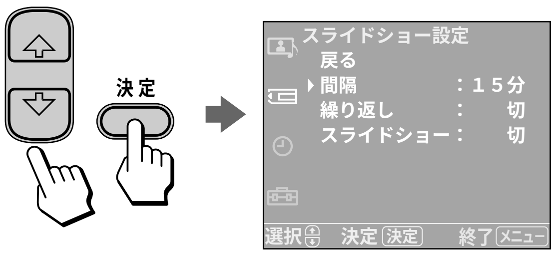
6 **↑/↓で「間隔」を選び、決定ボタンを押す。**



7 **↑/↓で、スライドショーの表示間隔（表示時間）「5秒」、「10秒」、「1分」、「15分」、「1日」のいずれかを選び、決定ボタンを押す。**

「1日」を選んだときは、スライドショー開始後24時間経過した時に静止画像が切り換わります。

スライドショーの時間は多少の誤差があります。

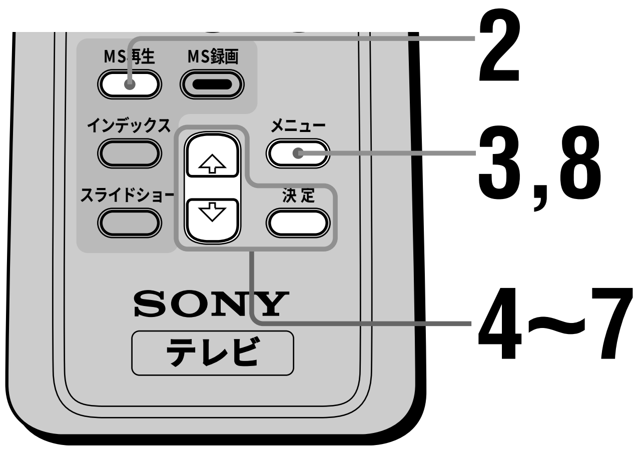


8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

手順7で「5秒」を選んだときでも、非常に大きなドット数のJPEG画像ファイルの場合には、画像を再生するまでに時間がかかるため、5秒をこえる場合があります。

スライドショーを自動的に繰り返す設定にするには

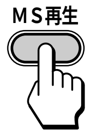


1 **「メモリースティック」を差込口に入れる。**

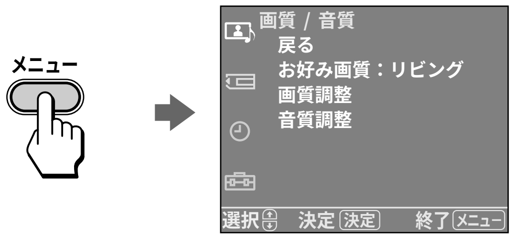
（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

2 **MS再生ボタンを押す。**

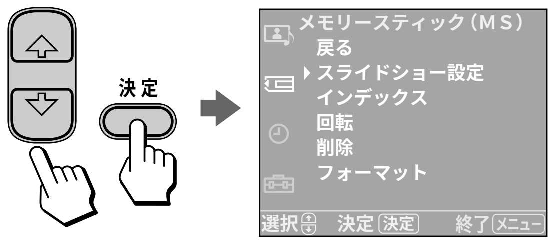
最後に記録した静止画像が表示されます。



3 **メニューボタンを押す。**



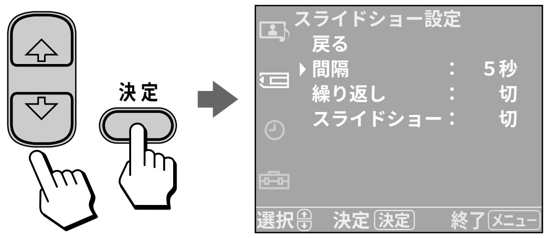
4 **↑/↓で「(メモリースティックMS)」を選び、決定ボタンを押す。**



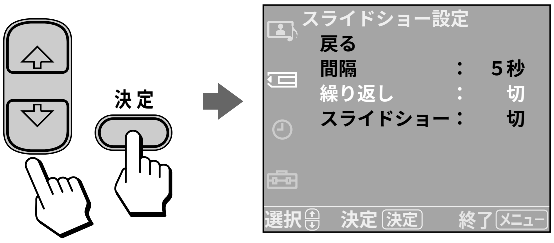
次のページにつづく

静止画像を順番に自動表示する（MSスライドショー）（つづき）

5 **↑/↓で「スライドショー設定」を選び、決定ボタンを押す。**

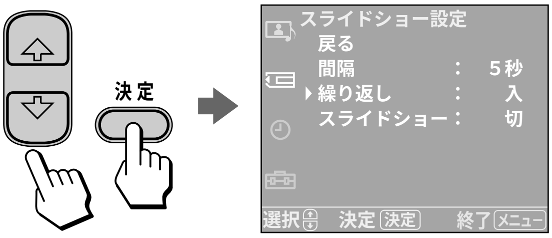


6 **↑/↓で「繰り返し」を選び、決定ボタンを押す。**



7 **↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

「切」を選ぶと繰り返し表示されません。



8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

途中でスライドショーをやめるには

スライドショーボタンを押す。
ボタンを押した時に表示されていた静止画像で止まり、「MS*」と表示されます。

* MSは「メモリースティック」再生（一枚表示）のことです。

ちょっと一言

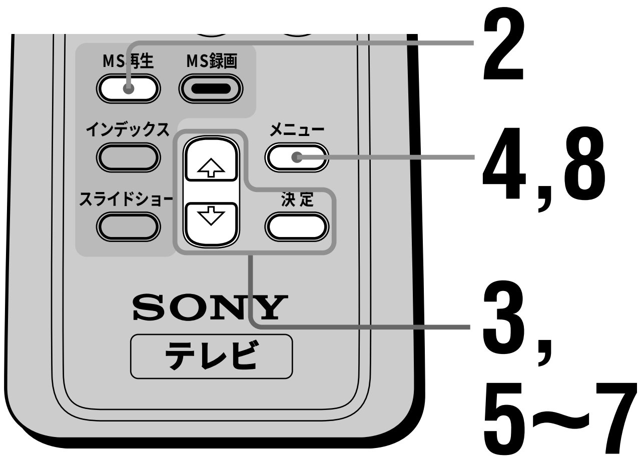
メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「（メモリースティック）」から「スライドショー設定」を選び、「スライドショー:切」に設定してください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/ーボタンを押す。

静止画像の向きを90°回転させる

「メモリースティック」に記録されている静止画像を、回転（90°）させて表示することができます。

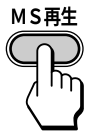


1 **「メモリースティック」を差込口に入れる。**

（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

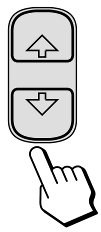
2 **MS再生ボタンを押す。**

最後に記録した静止画像が表示されます。

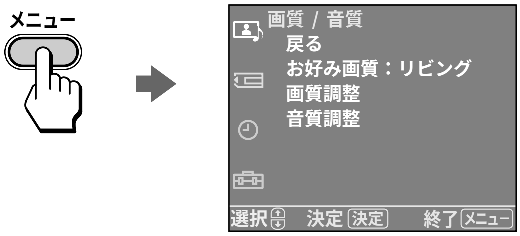


3 **↑/↓で回転させたい静止画像を選ぶ。**

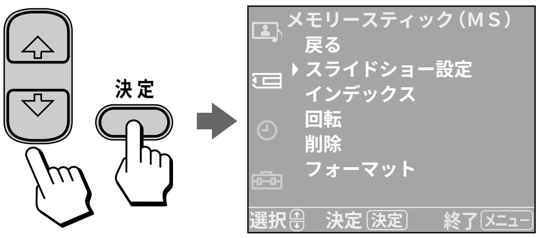
一覧表示画面からも画像を選ぶことができます。（☞18ページ「静止画像を一覧表示する」）



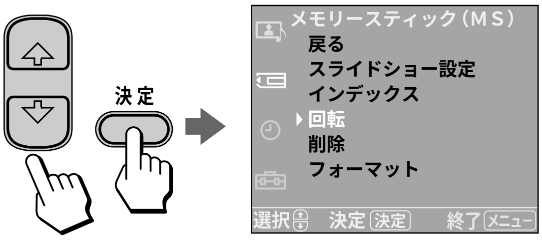
4 メニューボタンを押す。



5 ↑/↓で「(メモリースティックMS)」を選び、決定ボタンを押す。

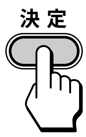


6 ↑/↓で「回転」を選び、決定ボタンを押す。



7 決定ボタンを押して静止画像を回転させる。

決定ボタンを押すたびに、90°ずつ時計回りで回転します。



8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

テレビ画面に戻すときは

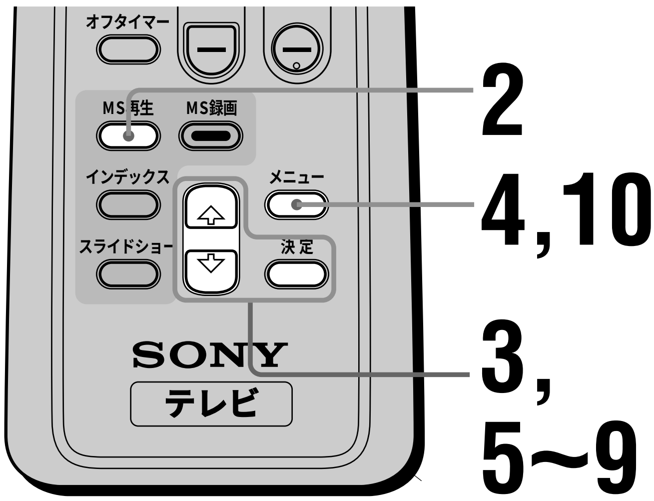
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

ご注意

- 「メモリースティック」の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていたり、他機によってプロテクト（誤消去防止）された静止画像は回転できません。またデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900やデジタルスチルカメラDSC-D700/D770などで撮影した静止画像も回転できません。
- 回転を設定していても一覧表示画面では、回転させた状態では表示されません。一覧表示については「静止画像を一覧表示する」☞18ページをご覧ください。

静止画像を削除する

「メモリースティック」から不要になった静止画像を削除できます。

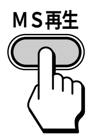


1 「メモリースティック」を差込口に入れる。

（☞16ページ「「メモリースティック」を入れる」）

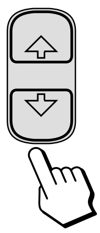
2 MS再生ボタンを押す。

最後に記録した静止画像が表示されます。



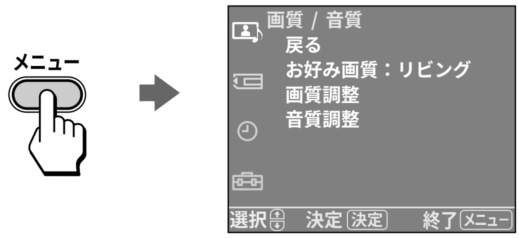
3 ↑/↓で削除したい静止画像を選ぶ。

MSインデックスからも画像を選ぶことができます。（☞18ページ「静止画像を一覧表示する」）

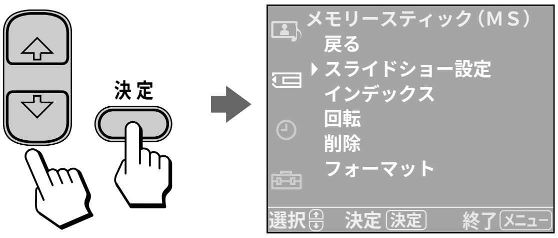


静止画像を削除する（つづき）

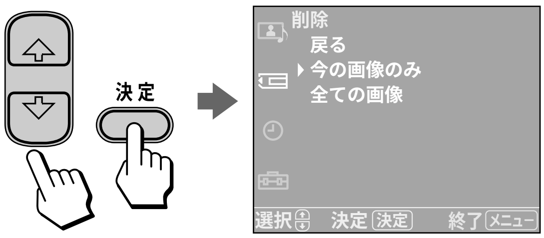
4 **メニューボタンを押す。**



5 **↑/↓で「(メモリースティックMS)」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **↑/↓で「削除」を選び、決定ボタンを押す。**



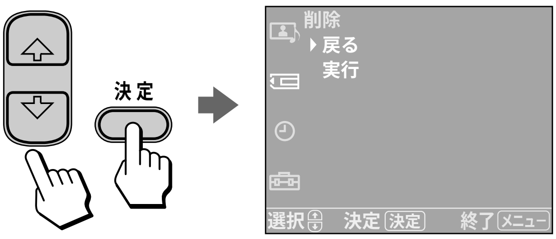
7 **↑/↓で「今の画像のみ」または「全ての画像」を選び、決定ボタンを押す。**

現在表示されている静止画像のみを削除したいとき

「今の画像のみ」を選ぶ。

「メモリースティック」に記録されている全ての静止画像を削除したいとき

「全ての画像」を選ぶ。

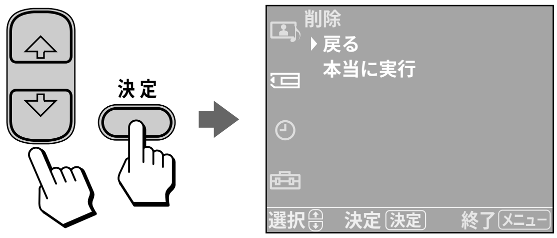


8 **↑/↓で「実行」を選び、決定ボタンを押す。**

「今の画像を削除します」と表示されます。

全ての画像を選択している場合には「全ての画像を削除します」と表示されます。

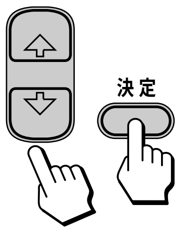
削除したくないときは、「戻る」を選び、決定ボタンを押す。



9 **↑/↓で「本当に実行」を選び、決定ボタンを押す。**

決定ボタンを押すと削除されます。

削除したくないときは、「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

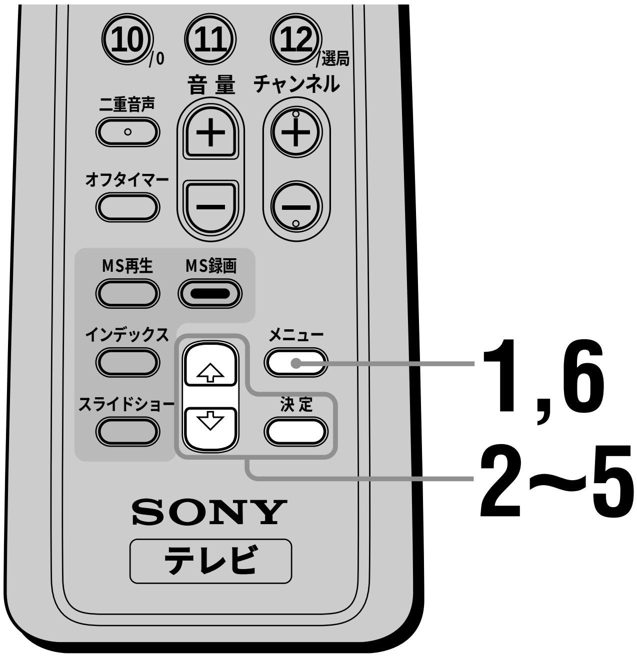


10 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

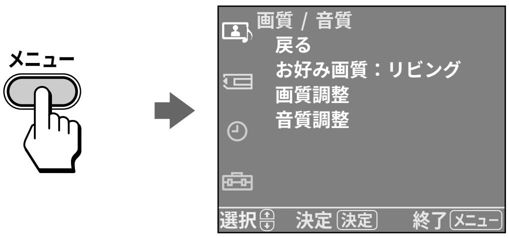
ご注意

- 他機によってプロテクト（誤消去防止）された静止画像は削除できません。静止画像を記録した機器でプロテクト（誤消去防止）を解除してから削除してください。
- 「メモリースティック」の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは静止画像を削除できません。
- 削除中は「メモリースティック」保護のため電源は切れません。
- 削除中に電源コードを抜くと「メモリースティック」が破損する場合があります。

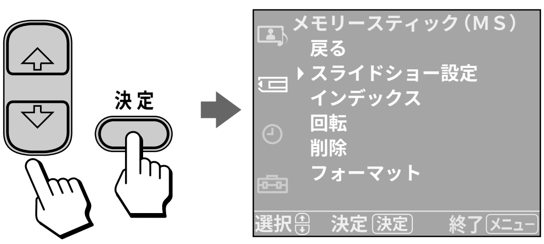
「メモリースティック」を初期化（フォーマット）する



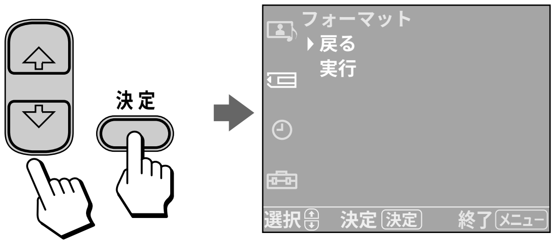
1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**



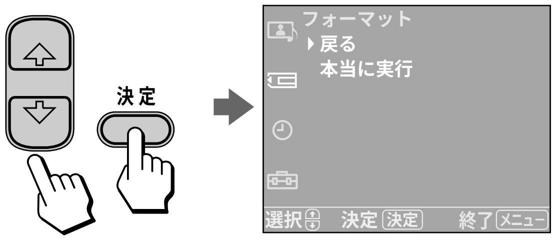
2 **↑/↓で「(メモリースティックMS)」を選び、決定ボタンを押す。**



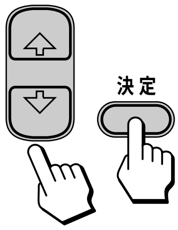
3 **↑/↓で「フォーマット」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **↑/↓で「実行」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **↑/↓で「本当に実行」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- 「メモリースティック」を初期化（フォーマット）すると、静止画像を含む全ての情報が削除され、「メモリースティック」お買い上げ時の状態に戻ります。このとき、他機種によってプロテクト（誤消去防止）されている画像も削除されます。
- 削除したくない画像はあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。
- 「メモリースティック」の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、初期化（フォーマット）できません。
- フォーマット中は「メモリースティック」保護のため電源は切れません。
- フォーマット中に電源コードを抜くと「メモリースティック」が破損する場合があります。

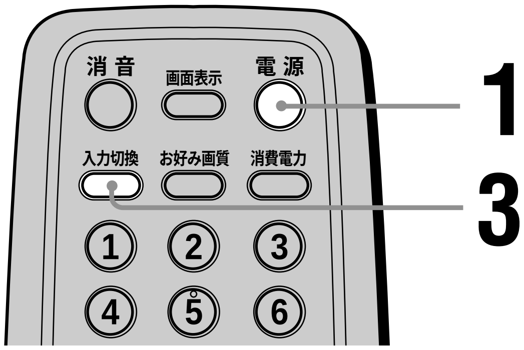
パソコンの画像を見る

ここでは、パソコンの画像を見たり、画質を調整したりする操作や、パワーセーブ機能について説明しています。
パソコンの接続については「パソコンをつなぐ」（☞45〜46ページ）をご覧ください。

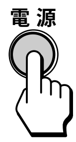


パソコンの画像を見る

PC/RGB入力端子につないだパソコンの画像を見ることができます。



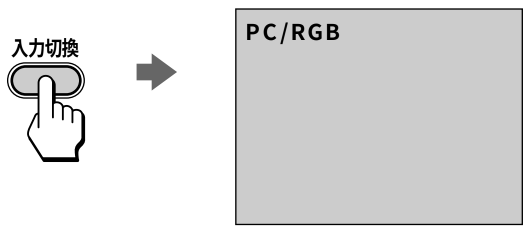
1 **テレビの電源を入れる。**



2 **パソコンの電源を入れる。**

3 **入力切換ボタンを繰り返し押して、PC/RGB入力を選ぶ。**

パソコンの画面が表示されます。



パソコンからの音声を本機で再生したい場合は

コンポーネント入力の音声入力端子をお使いください。

ちょっと一言

暗い場所で使用していて画面が明るすぎてまぶしいときは、消費電力ボタンを押して「消費電力：減」にするか、お好み画質ボタンで画質を選んでください。（☞6ページをご覧ください。）

表示モード一覧

モード	解像度（ドット×ライン）	水平周波数	垂直周波数	グラフィックモード
1	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	VGA-G
2	640 × 480	35.0 kHz	67 Hz	Macintosh 13" カラー
3	640 × 480	37.5 kHz	75 Hz	EVGA
4	640 × 480	43.3 kHz	85 Hz	VESA
5	720 × 400	31.5 kHz	70 Hz	VGAテキスト
6	720 × 400	37.9 kHz	85 Hz	VESA
7	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	SVGA
8	800 × 600	46.9 kHz	75 Hz	ESVGA
9	800 × 600	53.7 kHz	85 Hz	VESA
10	832 × 624	49.7 kHz	75 Hz	Macintosh 16" カラー
11	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	VESA
12	1024 × 768	56.5 kHz	70 Hz	VESA
13	1024 × 768	60.0 kHz	75 Hz	EUVGA
14	1024 × 768	60.2 kHz	75 Hz	Macintosh 19" カラー

ご注意

上記「表示モード一覧」以外の信号を本機がパソコンから受けた場合、画像が表示されません。

フェーズ、ピッチ、サイズ、位置調整について

- パソコンをつなぎ換えたときなどは、もう一度調整が必要になる場合があります。
- ピッチ調整を先に行ってください。サイズや位置調整の後でピッチを調整すると、もう一度サイズ、位置調整をする必要があります。

画面に画像が出ないときは

- 正しく接続されているか確認してください。
- 「この表示モードには対応していません」と表示されている場合、本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、それにつなぎ換えてみてください。

くわしくは、「故障かな？と思ったら」（☞54〜55ページ）をご覧ください。

Windows 95/98 をお使いのお客さまは

本機は、プラグ＆プレイ規格である「VESA DDC」に対応しています。お使いのパソコンまたはグラフィックボードがDDCに対応している場合は、パソコンをつないだときに本機が自動認識されます。

Windows 95/98以外の機種をお使いのときは

本機の機種名が表示されません。パソコンの取扱説明書をご覧になって、解像度、リフレッシュレート、色数を設定してください。

解像度と色数を設定するには

パソコンの取扱説明書をご覧ください。

カラーパレットの設定と表示される色数は、以下のとおりです。色数は、パソコンやグラフィックボードの性能によって制限されます。

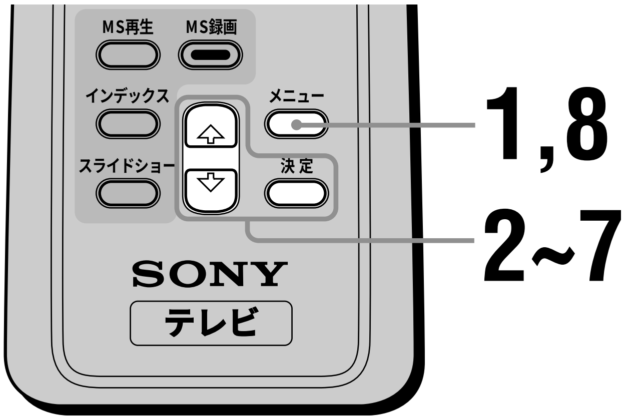
- High Color（16ビット）→65536色
- True Color（24ビット）→約1677万色

True Color（24ビット）に設定すると、画面の描画速度が少し遅くなります。

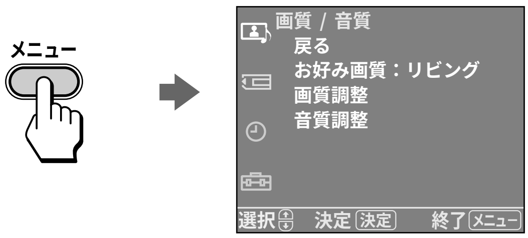
画像をくっきりさせる（フェーズ調整、ピッチ調整）

文字や画面が鮮明でないときにフェーズ、ピッチを調整します。

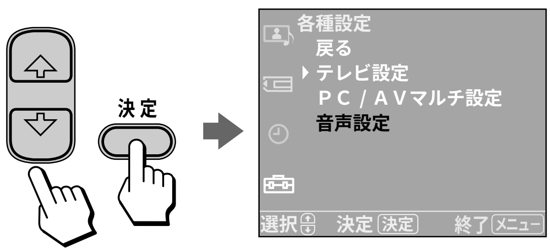
ピッチを調整した後にフェーズの調整を行います。調整を行うと、調整値が自動的に本機に設定され、同じ信号が入力されるたびに、その調整値が選ばれるようになります。



1 メニューボタンを押す。



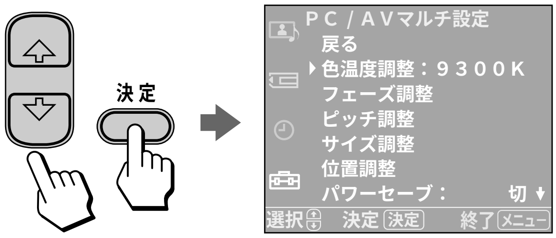
2 ↑/↓で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。



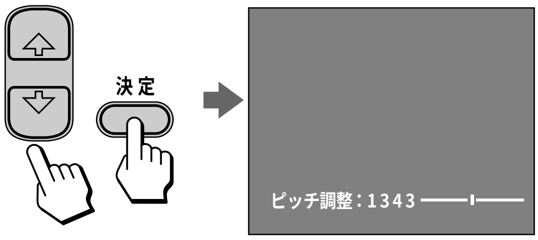
次のページにつづく

画像をくっきりさせる（フェーズ調整、ピッチ調整）（つづき）

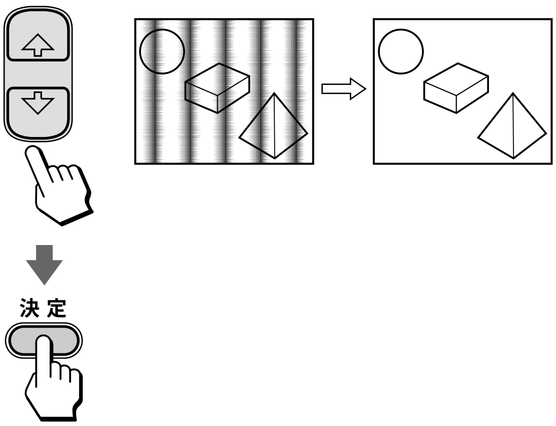
3 **↑/↓で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **↑/↓で「ピッチ調整」を選び、決定ボタンを押す。**

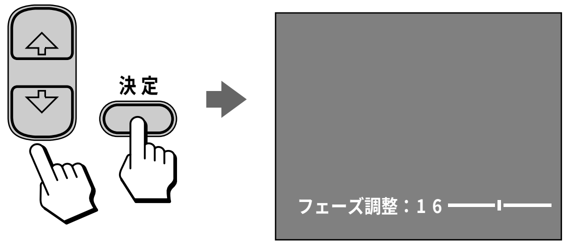


5 **↑/↓で、画像の縦縞がなくなるまで調整し、決定ボタンを押す。**

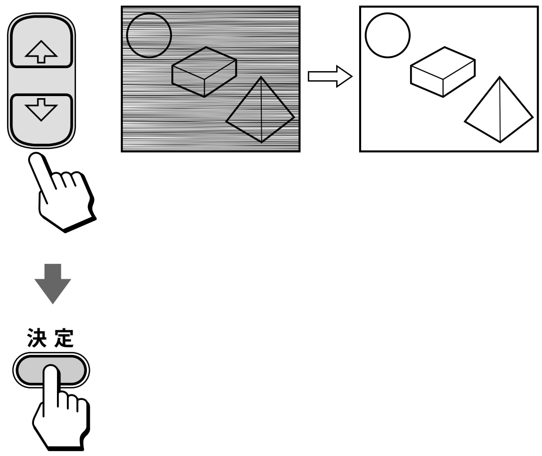


メニュー画面に戻ります。
画面全体に横縞が残る場合は、ひき続きフェーズを調整します。

6 **↑/↓で「フェーズ調整」を選び、決定ボタンを押す。**



7 **↑/↓で、画像の横縞が最少になるように調整し、決定ボタンを押す。**



メニュー画面に戻ります。

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

フェーズとピッチについて

フェーズ調整は文字や画像が全体的にぼんやりし、鮮明でないときに行います。フェーズ調整はピッチ調整をした後で行います。
ピッチ調整は文字や画像の一部が鮮明でないときに行います。

ご注意

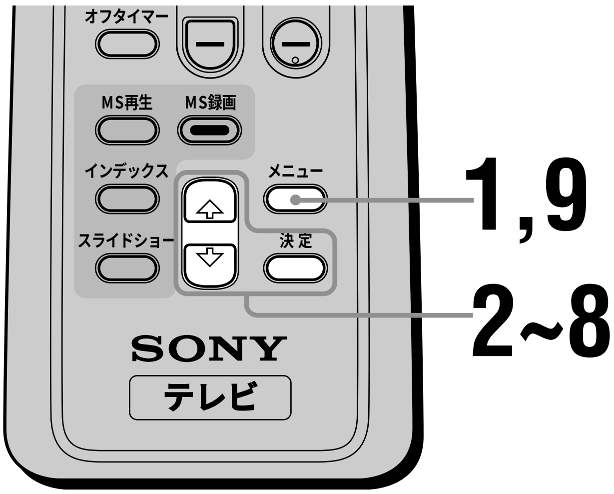
環境条件により、フェーズがずれることがあります。その場合にはもう一度フェーズの調整を行ってください。

画像の大きさを調整する（サイズ調整）

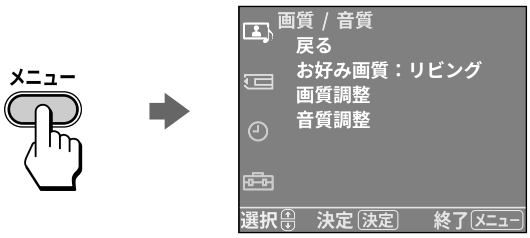
画像が小さいときや、はみ出ているときに、調整します。

ご注意

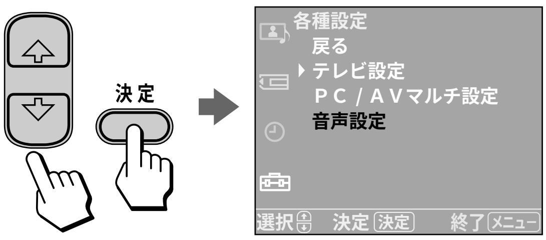
この調整はピッチ調整のあとに行ってください。サイズ調整のあとにピッチ調整を変えると、もう一度調整が必要になります。



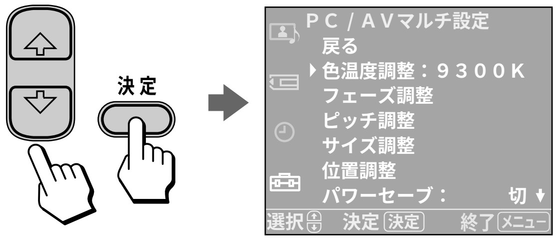
1 メニューボタンを押す。



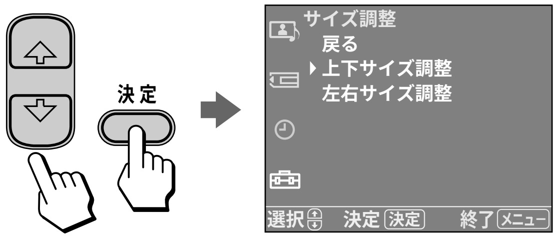
2 ↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。



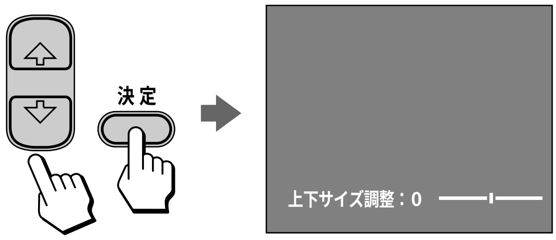
3 ↑/↓で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「サイズ調整」を選び、決定ボタンを押す。

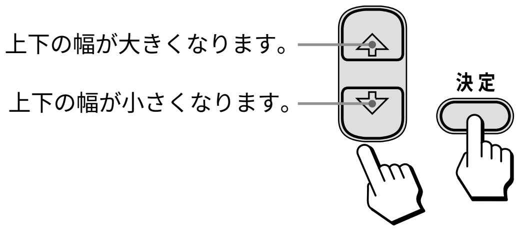


5 ↑/↓で「上下サイズ調整」を選び、決定ボタンを押す。



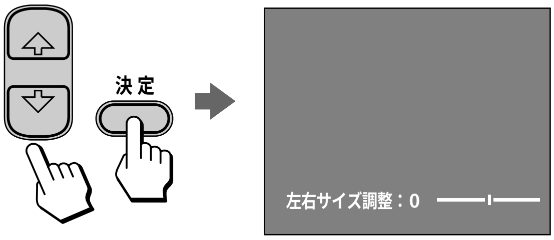
6 ↑/↓で画面の上下の大きさを調整し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



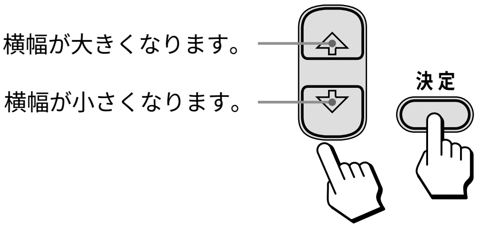
次のページにつづく

7 **↑/↓で「左右サイズ調整」を選び、決定ボタンを押す。**



8 **↑/↓で画面の左右の大きさを調整し、決定ボタンを押す。**

決定ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



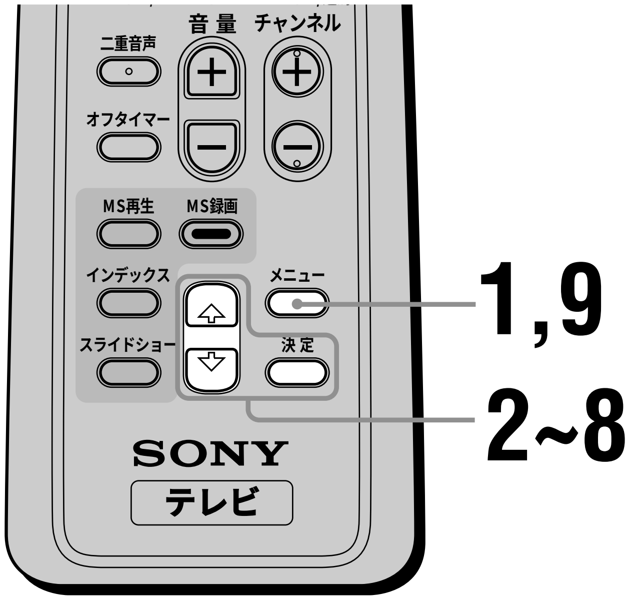
9 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

画像の位置を調整する（位置調整）

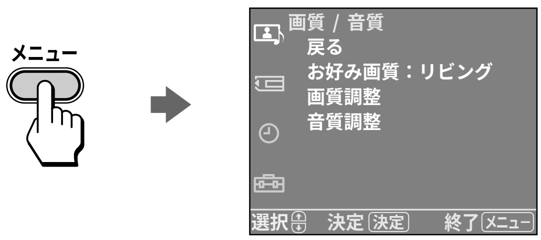
パソコンの画像が画面中央に出ないときに、調整します。

ご注意

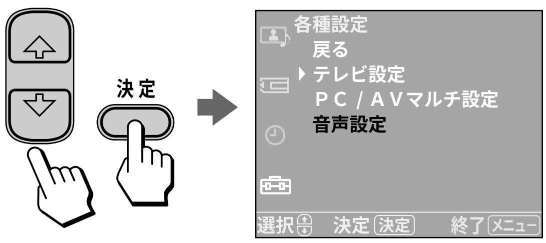
この調整はピッチ調整のあとに行ってください。位置調整のあとにピッチ調整を変えると、もう一度調整が必要になります。



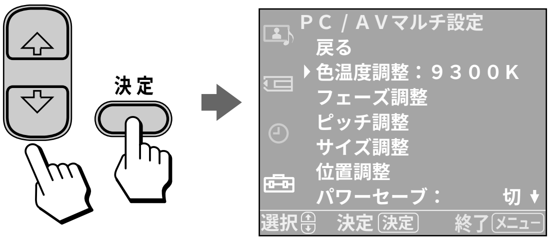
1 **メニューボタンを押す。**



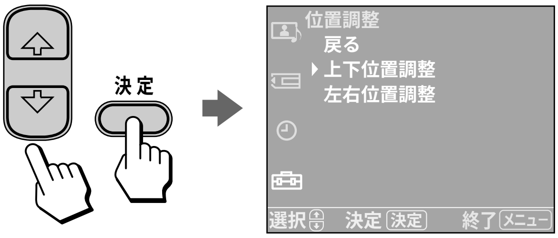
2 **↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。**



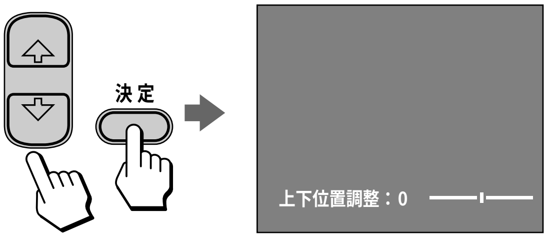
3 ↑/↓で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。



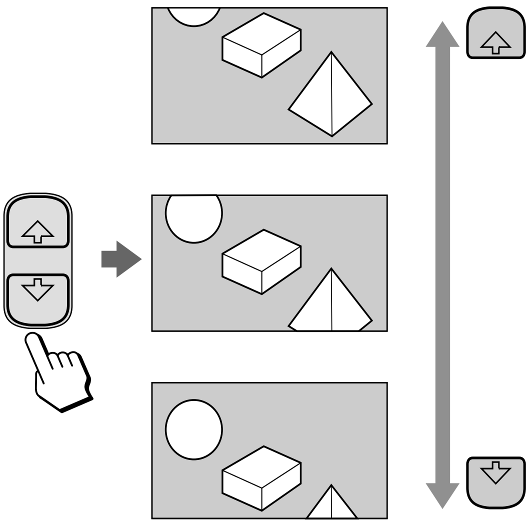
4 ↑/↓で「位置調整」を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で「上下位置調整」を選び、決定ボタンを押す。

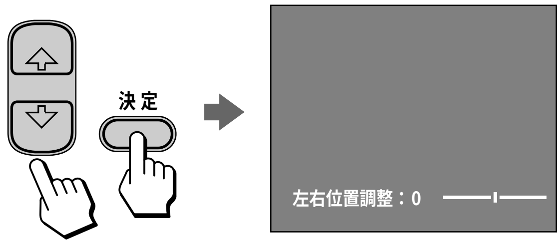


6 ↑/↓で画面の上下位置を調整し、決定ボタンを押す。



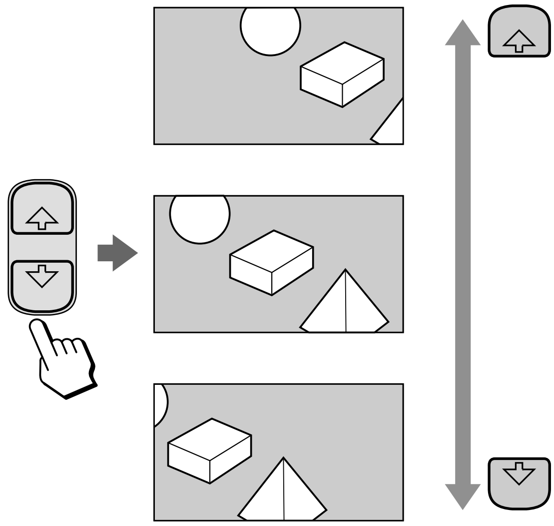
決定ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

7 ↑/↓で「左右位置調整」を選び、決定ボタンを押す。



8 ↑/↓で画面の左右位置を調整し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

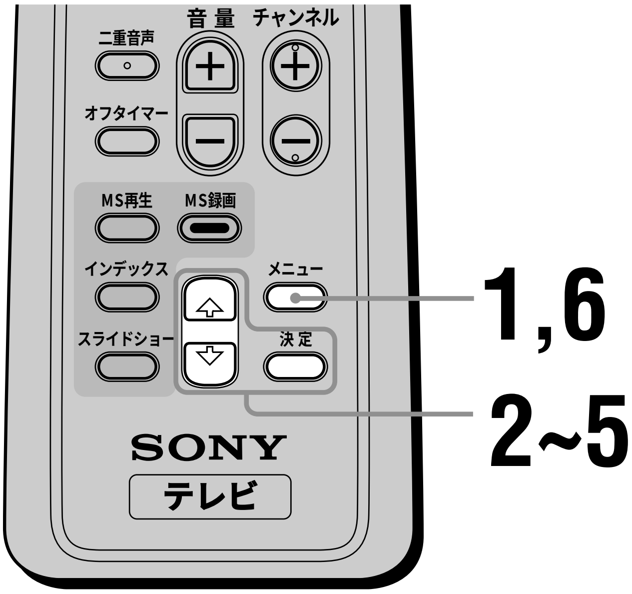


9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

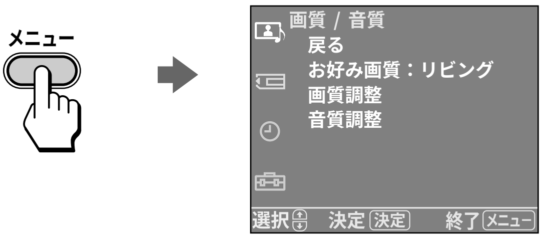
色合いを調整する

(色温度調整)

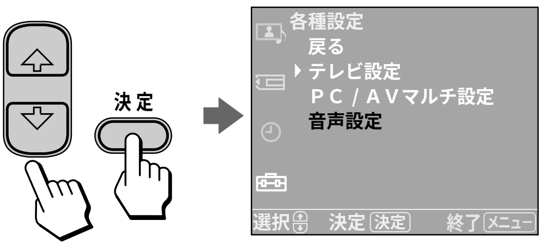
色温度を調整することによって画面の色合いを調整します。色温度を低く設定すると画面が赤みがかった白色になり、高く設定すると青みがかった白色になります。



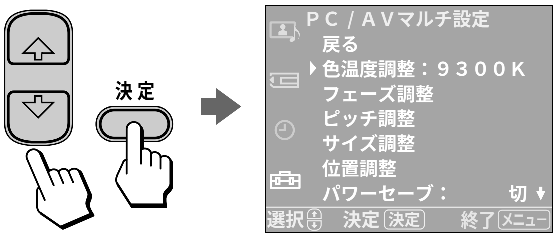
1 メニューボタンを押す。



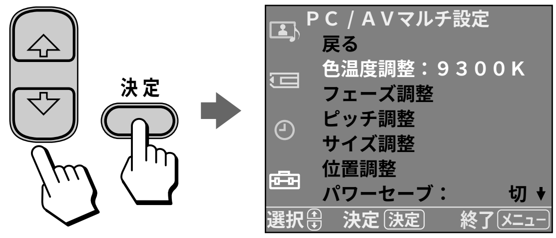
2 ⬆/⬇で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 ⬆/⬇で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。

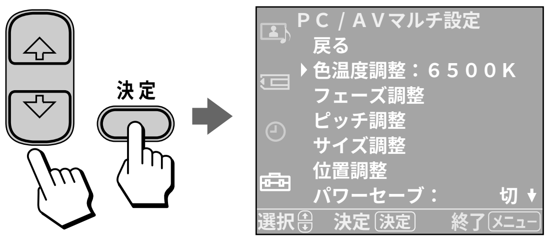


4 ⬆/⬇で「色温度調整」を選び、決定ボタンを押す。



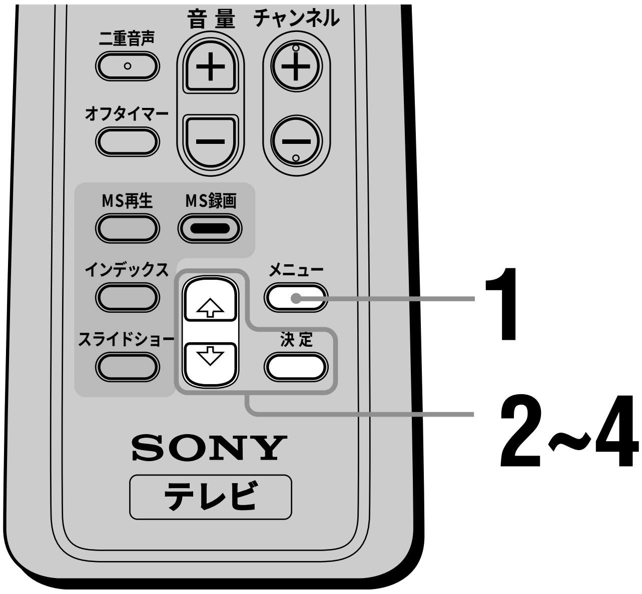
5 ⬆/⬇で色温度を選び、決定ボタンを押す。

色温度	画面上の色
9300K	青みがかった白になる
6500K	↕
5000K	赤みがかった白になる

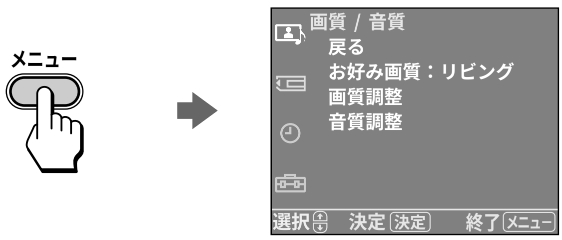


6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

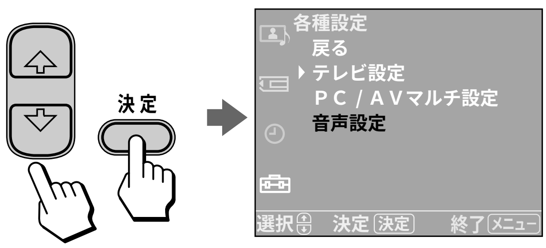
お買い上げ時の設定に戻す



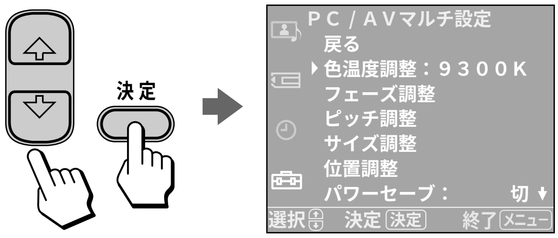
1 メニューボタンを押す。



2 ⬆/⬇で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。

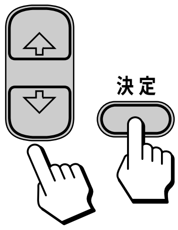


3 ⬆/⬇で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ⬆/⬇で「標準」を選び、決定ボタンを押す。

「標準」は⬇を押し続けると出てきます。



現在使用している表示モードのフェーズ、ピッチ、サイズ、位置調整のみ標準に戻ります。
再度調整するときは、⬆で調整する項目を選んで調整してください。
メニューボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

省電力機能を設定する（パワーセーブ）

パワーセーブ機能のあるパソコンをつなぐと、パソコンを操作していないときは、「入力信号がありません」と一度表示された後、自動的にパワーセーブモードになり消費電力が減少します。

パワーセーブ機能が働くようにするには

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「パワーセーブ」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「30秒」、「5分」、「60分」のどれかを選び、決定ボタンを押す。
パワーセーブ機能を働かないようにするには、「切」を選んでください。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意
- パワーセーブモードのときは、リモコンの緑色で表示されているボタンとチャンネル数字ボタンで操作できます。
- パワーセーブ機能が働くように設定していても、他の入力に切り換えたときはパワーセーブ機能は働かなくなります。PC/RGB入力に戻すとパワーセーブ機能が働くようになります。

通常の画面表示に戻すには

パソコンのキーボードのキーをどれか押す。

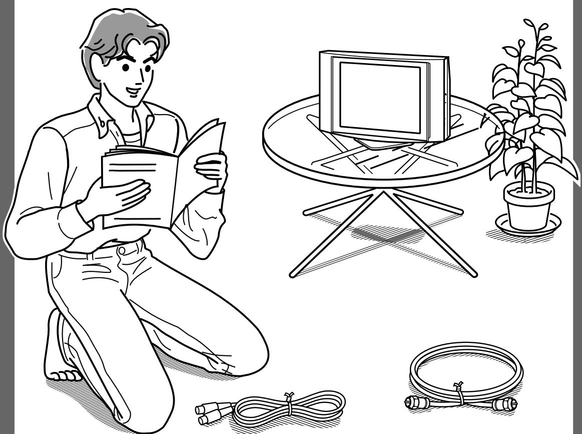
ちょっと一言
本機は、VESAおよび国際エネルギースタープログラムのパワーセービングガイドラインに対応しています。
DPMS（Display Power Management Signaling）に対応しているコンピューターやグラフィックボードにつなぎ、パソコンの省電力機能等が設定されているときに一定時間パソコンを操作しないと自動的に下表の3段階パワーセーブモードに切り換わります。

状態	画面	*水平同期信号	*垂直同期信号	消費電力約（W）	パワーセーブランプ（オレンジ色）	スタンバイ／オフタイマーランプ（赤色）	電源ランプ（緑色）
通常動作	通常表示	有り	有り	50	消灯	消灯	点灯
通常動作（消費電力：減）	通常表示	有り	有り	41	消灯	消灯	点灯
パワーセーブモード							
スタンバイ	画像無し	無し	有り	22	点滅	消灯	点滅
サスペンド	画像無し	有り	無し	22	点滅	消灯	点滅
アクティブオフ	画像無し	無し	無し	4.5	点灯	消灯	点灯
スタンバイ	−	−	−	4.5	消灯	点灯	消灯
電源　切	−	−	−	4.5	消灯	消灯	消灯

* 上記と異なる同期信号が入力された場合、パワーセーブ機能が正しく働かない場合があります。この場合は、パワーセーブ機能の設定を「切」にしてお使いください。

接続と準備

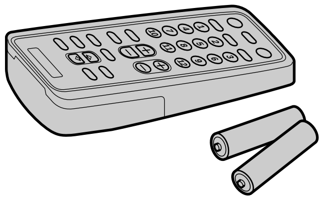
ここでは、テレビアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定を説明しています。
手順1～2（☞36～39ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞43～51ページ）をご覧ください。



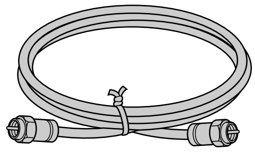
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

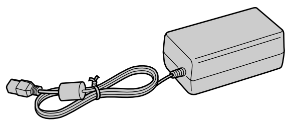
リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）



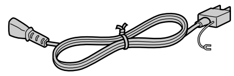
アンテナ接続ケーブル
（約1.5m:1本）



AC**パワーアダプター（1個）**

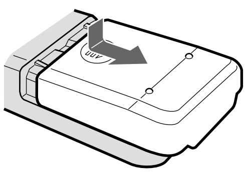


電源コード（1本）

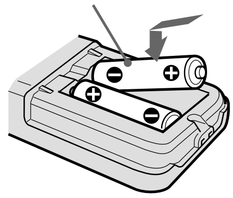


取扱説明書
安全のために/安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには



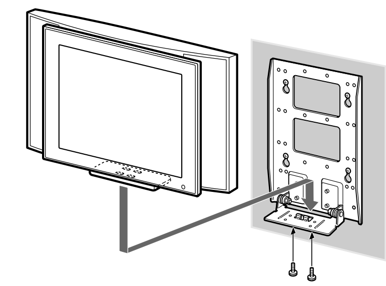
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。



壁にかけるときは

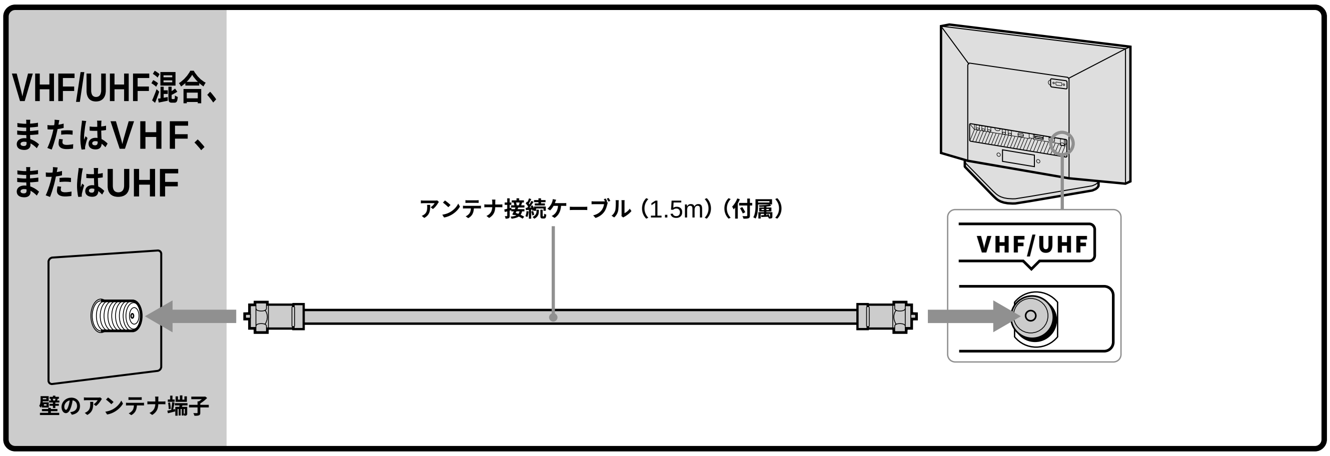
本機を壁にかけて使用するときは、別売りの壁取付金具をご使用ください。

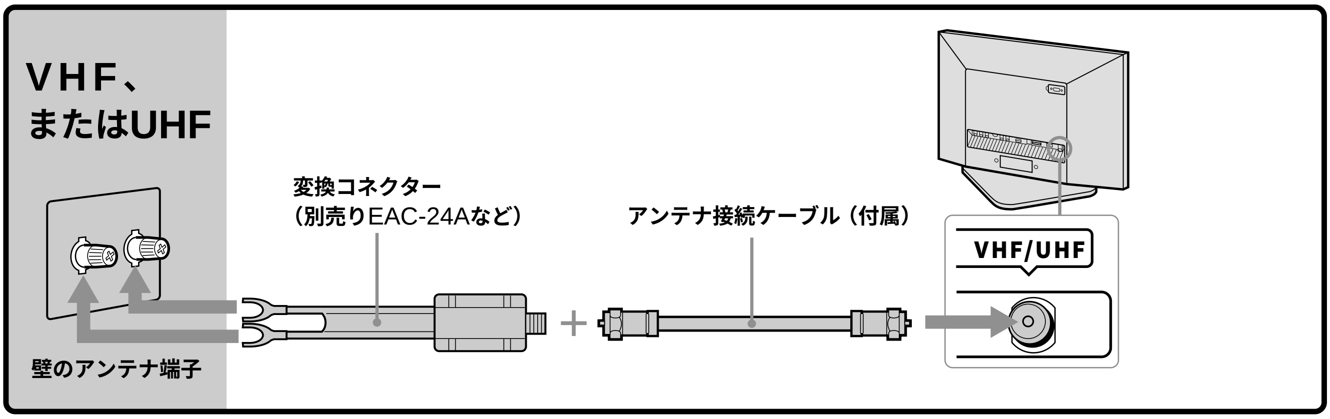
- 液晶テレビ用壁取付金具（別売り）SU-F1500

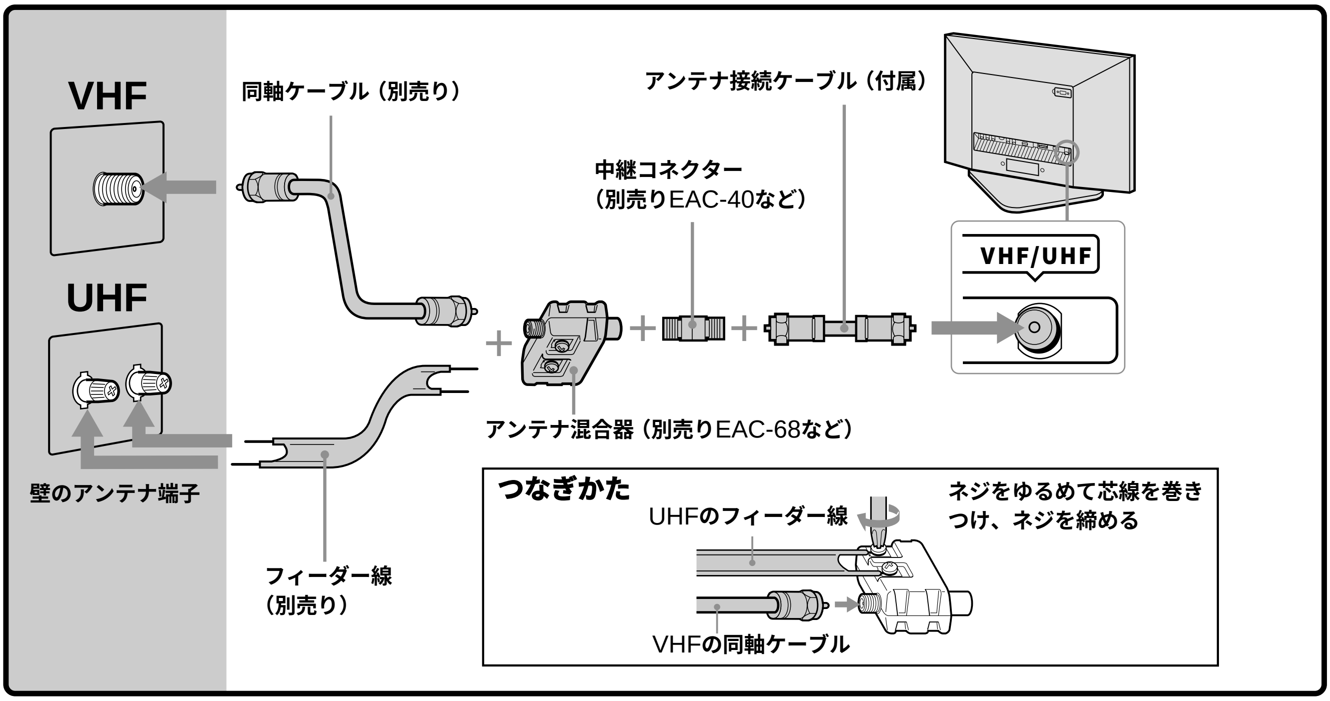


手順1:
テレビアンテナと電源コードをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。







きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。左記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

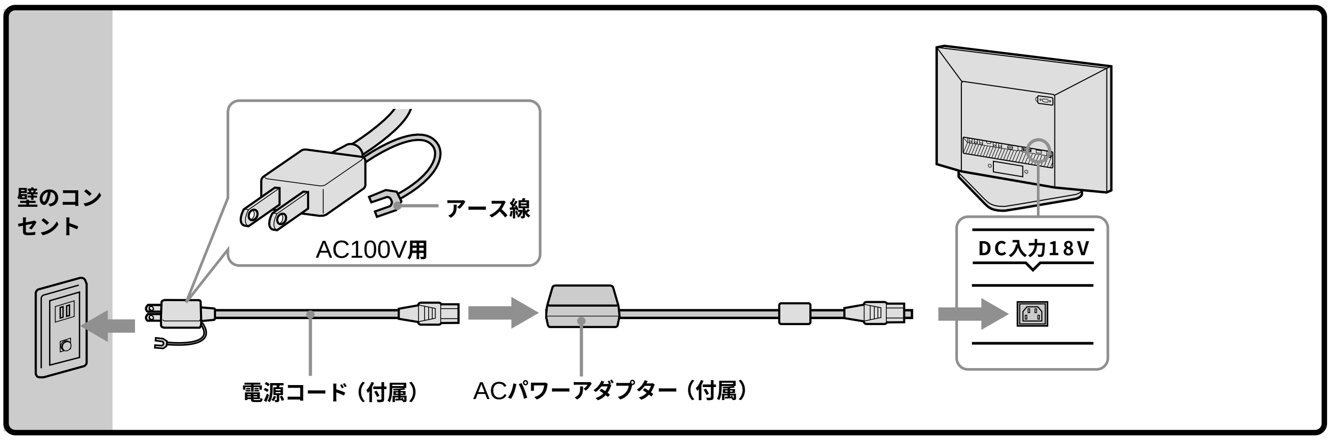
- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、**必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。**
- アンテナ接続ケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。

電源コードをつなぐ

必ず付属のACパワーアダプターと電源コードをご使用ください。安全のため、電源コードにはアース線が付けられています。コンセントにプラグを差し込む前に、アース線をアースへ接続してください。

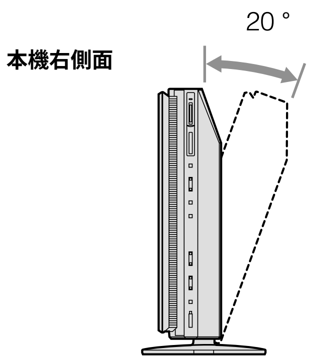


ご注意

電源コードをコンセントからはずす場合は、アース線を最後にはずしてください。

見やすい角度に調整する

ディスプレイの角度を後ろに調整できます。



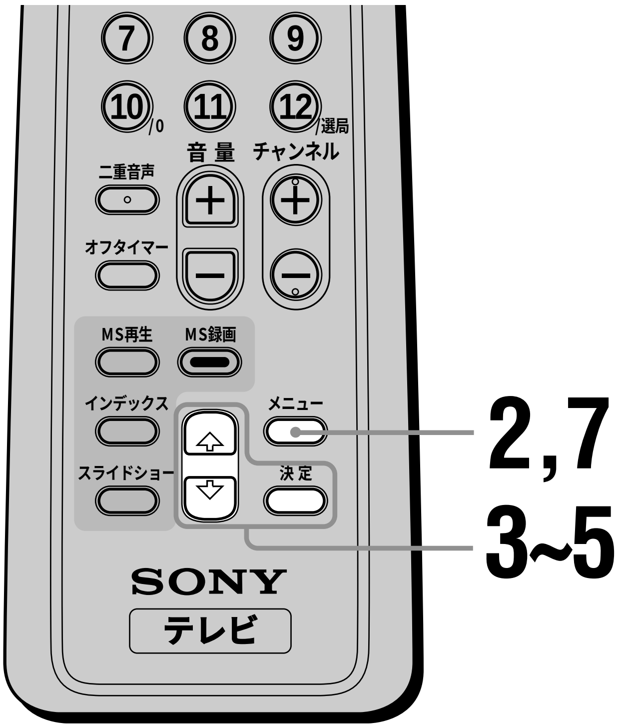
接続と準備

手順2:
チャンネルを設定する

VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

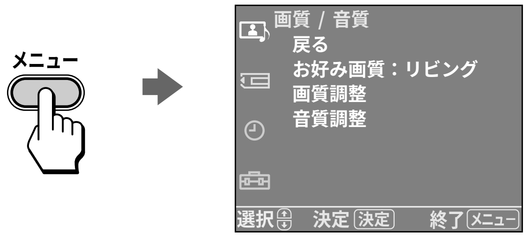
自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞40、41ページをご覧ください。

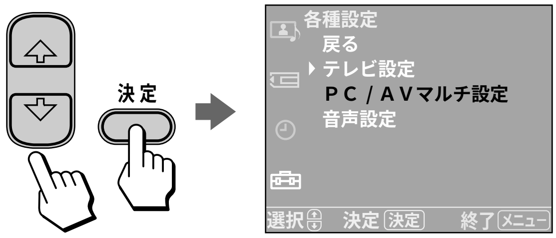


1 **電源を入れ、VHF/UHF放送を映す。**

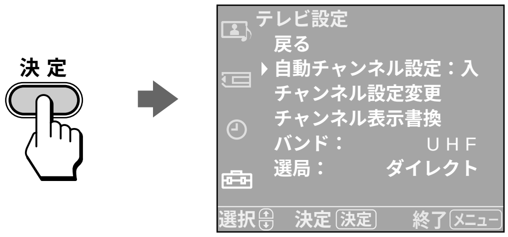
2 **メニューボタンを押す。**



3 **↑/↓で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

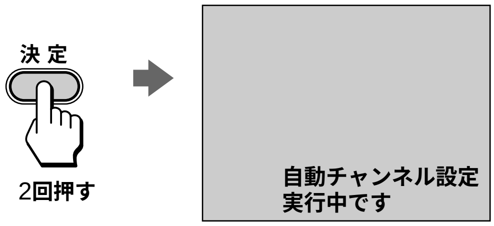


4 **「テレビ設定」が黄色になっていることを確認した後、決定ボタンを押す。**

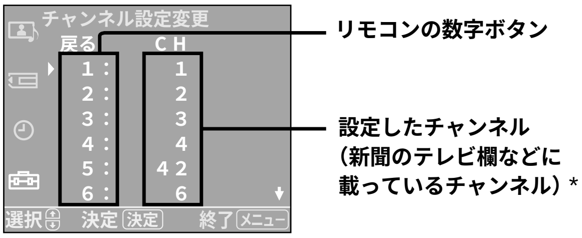


5 「自動チャンネル設定」が選ばれていて（黄色になっていて）、「入」になっていることを確認した後、決定ボタンを2回押す。

「切」になっているときは、決定ボタンを1回押した後、↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。



* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは

☞40ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、メニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。
詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞41ページ）。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

8 **↑/↓ボタンでケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

9 **↑/↓ボタンで「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。**
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例:C24

10 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞41ページ）をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

次のページにつづく

手順2:
チャンネルを設定する（つづき）

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1～12のチャンネル数字ボタンのすべてを、手動で設定できます。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

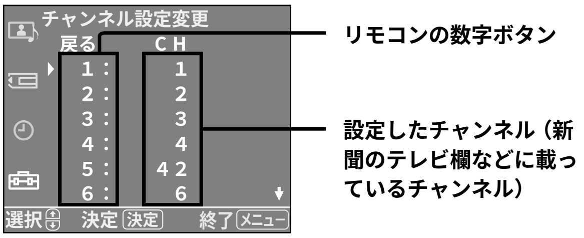
リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

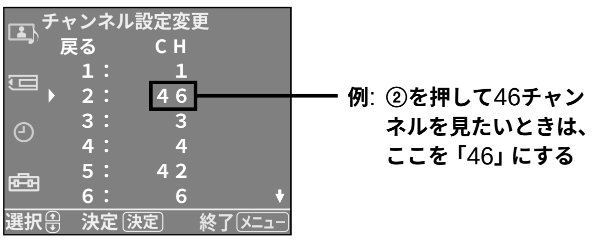
4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

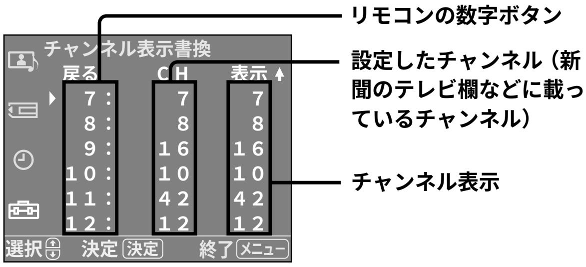
画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（各種設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

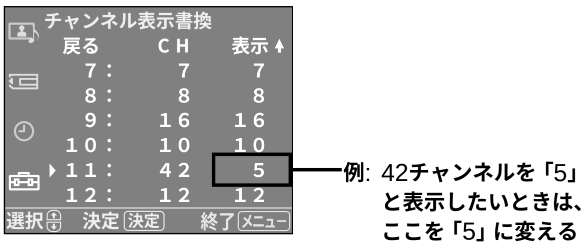
4 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。



7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

- チャンネル（CH）と表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

放送のないチャンネルをとばすには

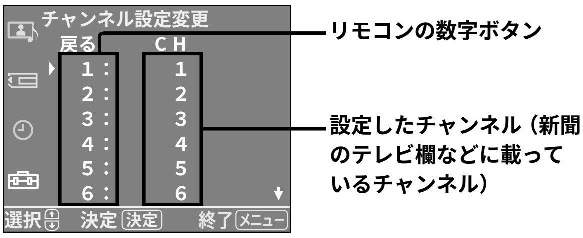
チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

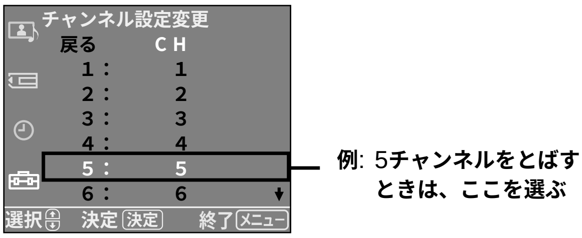
2 ♠/♣で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ♠/♣で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

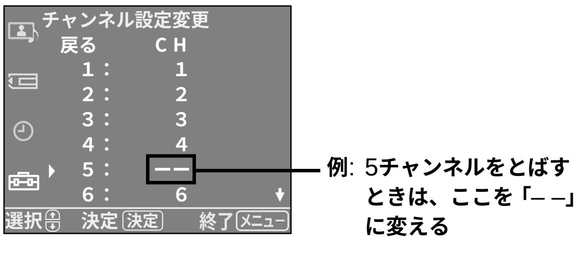
4 ♠/♣で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



5 ♠/♣でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



6 ♠/♣で「CH」を「– –」に変えて、決定ボタンを押す。

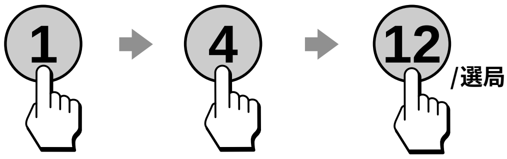


7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

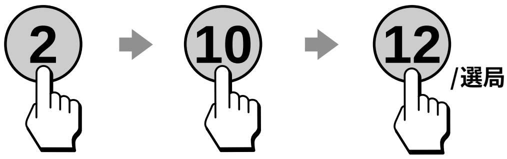
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ（10キー選局）

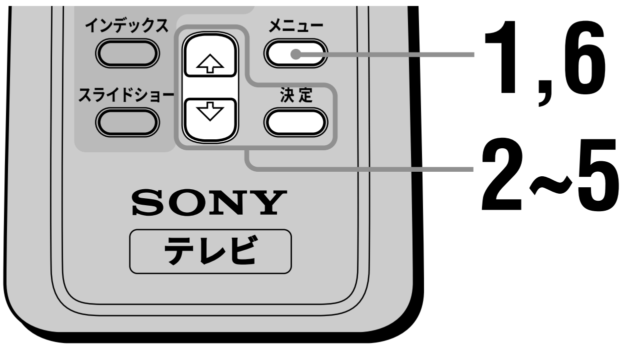
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大12局です。
そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が12局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫（＝選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

例） 14**チャンネル**

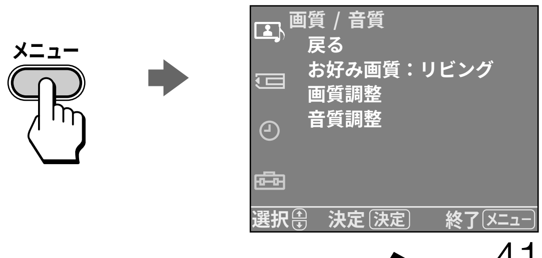


20**チャンネル**





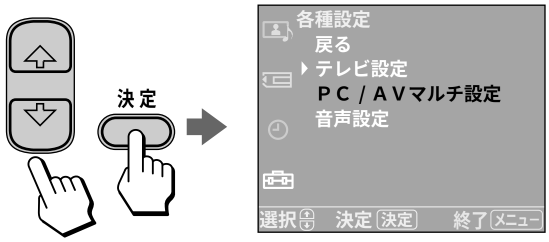
1 メニューボタンを押す。



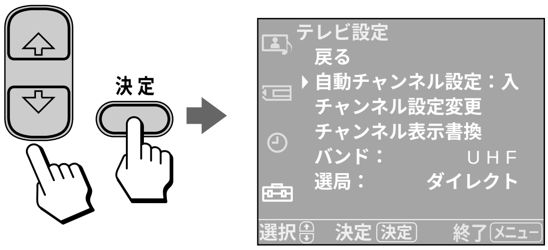
次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ（10キー選局）（つづき）

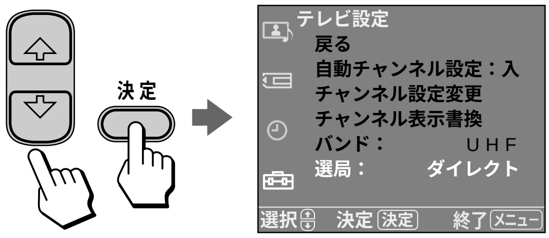
2 **↑/↓で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。**



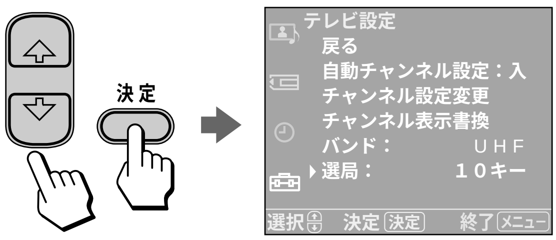
3 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ダイレクト選局に戻すには

手順5で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞38ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順3の後に下記の操作をした後、手順4以降を行ってください。
  1 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順4以降を行う。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1～12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

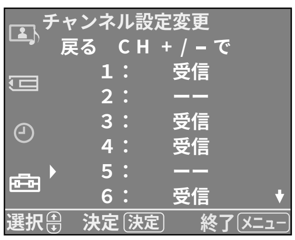
2 **↑/↓で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「– –」を選び、決定ボタンを押す。**

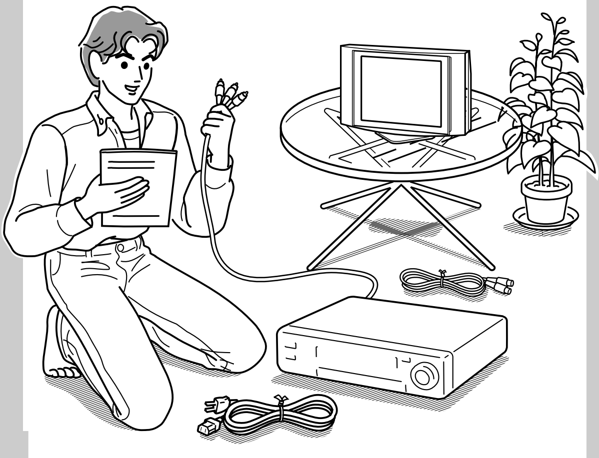


7 **複数のチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

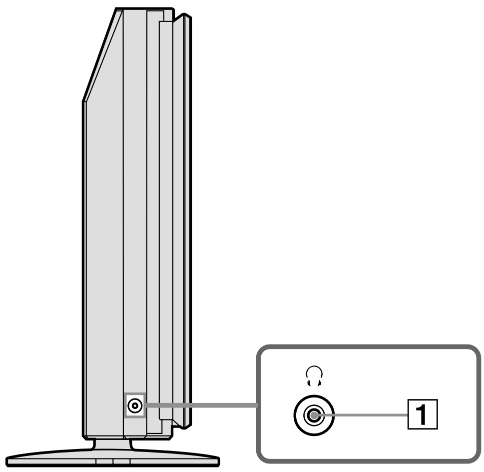
他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびパソコンやビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「接続と準備」（☞35〜42ページ）をご覧ください。



接続端子の名前とはたらき

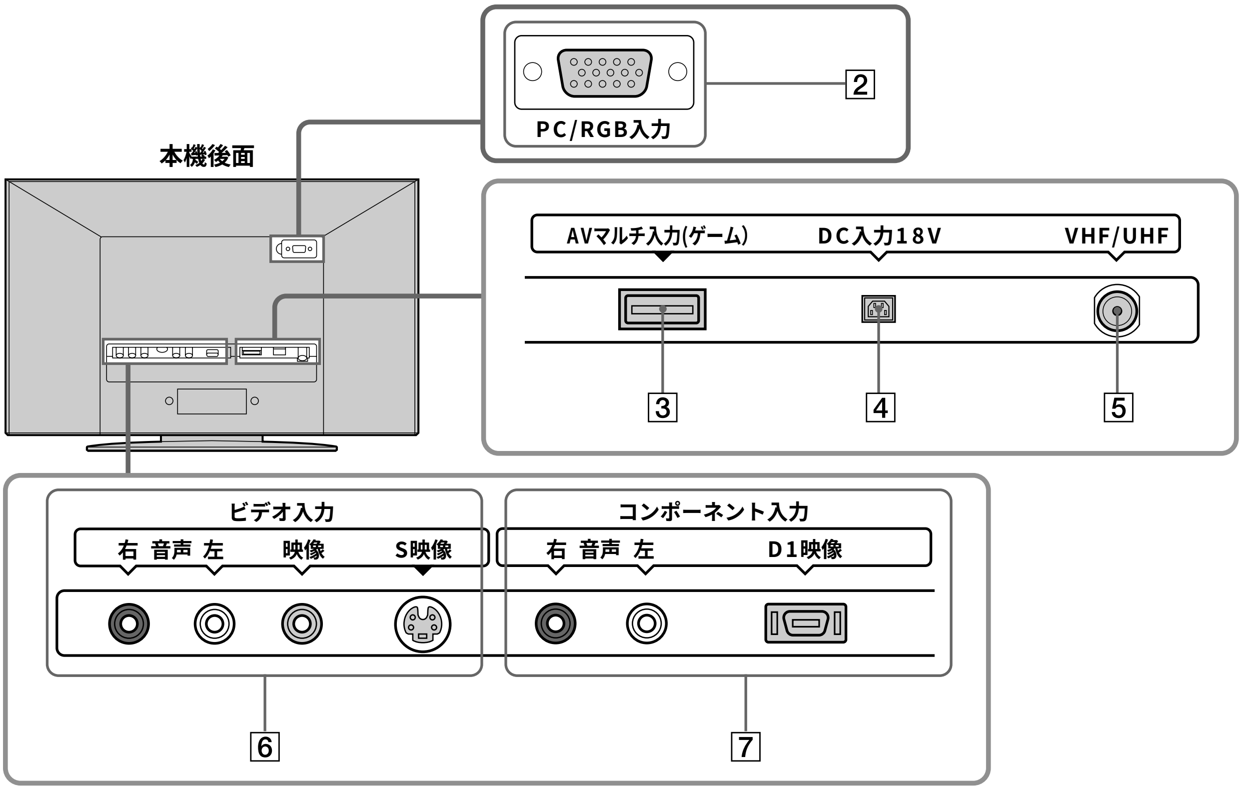
本機左側面



1 ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぎます。

次のページにつづく

接続端子の名前とはたらき（つづき）



☞のページに詳しい説明があります。

2 PC/RGB**入力端子**（☞45〜46**ページ**）
パソコンをつなぎます。

3 AV**マルチ入力（ゲーム）端子**（☞49**ページ**）
別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、“プレイステーション2”、“プレイステーション”のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続になり、よりきれいな映像でゲームを楽しめます。

4 DC**入力**18V**端子**（☞37**ページ**）
ACパワーアダプターをつなぎます。

5 VHF/UHF**アンテナ端子**（☞36**ページ**）
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

6 **ビデオ入力端子**（S**映像/映像/音声**）（☞47、48、50、51**ページ**）
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

7 **コンポーネント入力端子**（D1**映像/音声**）（☞45、46、48、50**ページ**）

D1映像入力端子

デジタルCSチューナー*などのD映像出力端子につなぎます。

* デジタルCS放送の受信には、別途、デジタルCSチューナーが必要となります。

D1映像入力端子の対応信号について

525i（480i）の信号フォーマットに対応しています。iはインターレースの略です。（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

音声入力端子

デジタルCSチューナーやビデオ機器、DVDプレーヤーの音声出力端子につなぎます。

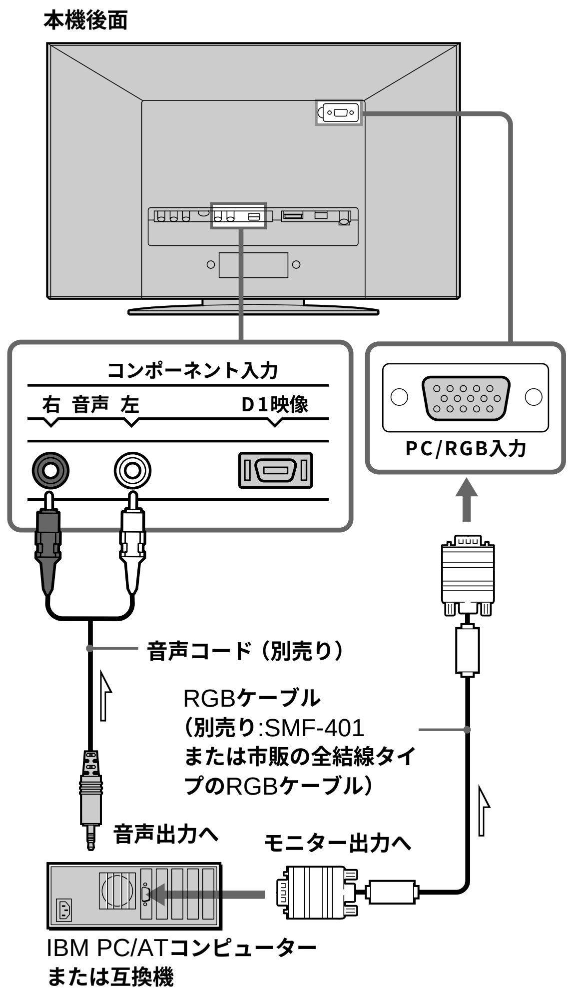
本機にパソコンをつないで音声も楽しみたい場合は、コンポーネント入力の音声入力端子をお使いください。

パソコンをつなぐ

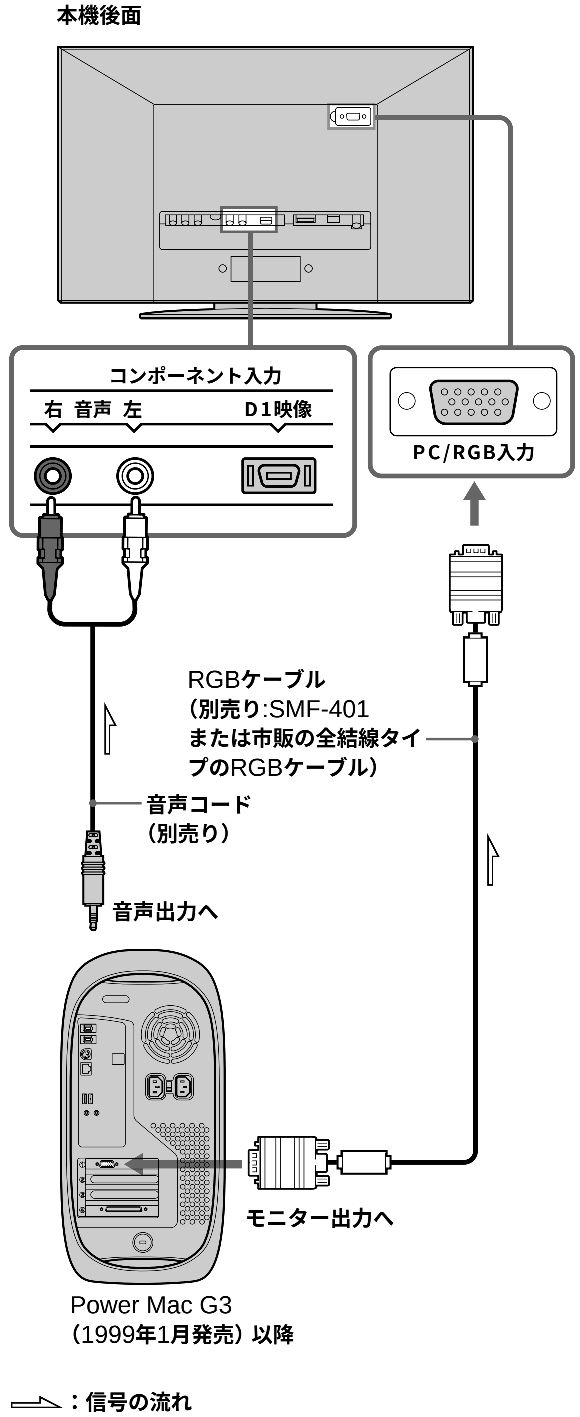
テレビとパソコンの電源を切った状態でつないでください。

ご注意
- 全結線タイプのRGBケーブルをお使いください。
- RGBケーブルのピンに、直接手をふれないでください。
- お使いになる前にPC/RGB入力端子のキャップをはずしてください。
- PC/RGB入力端子のキャップはなくさないよう、大切に保管してください。
- お手持ちのケーブルで信号が出ないときは、市販または別売りの全結線タイプのRGBケーブルをお買い求めください。

IBM PC/ATコンピューターまたは互換機につなぐ



Macintoshコンピューターまたは互換機につなぐ

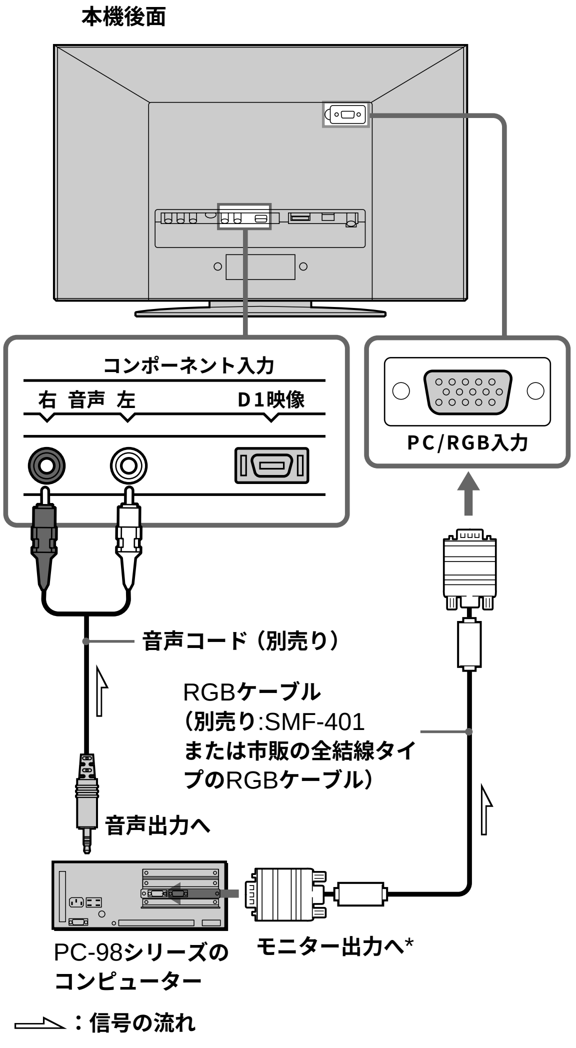


Power Mac G3（1999年1月発売）より前に発売されたMacintoshコンピューターまたはその互換機と本機をつなぐときは、市販のMacintoshコンピューター用変換アダプターをお使いください。

他機との接続

次のページにつづく

NEC PC-98シリーズのコンピューターにつなぐ



* PC-98シリーズ用変換アダプター（市販）が必要な場合があります。

ご注意

- 本機は、下記の水平周波数24.8kHz、解像度640x400ドットのモデルには対応していません（画像が画面に出ません）。この場合は「GRAPH」キーと「2」キーを押しながら、パソコンの電源スイッチを入れ、水平周波数を31.5kHzに設定します。
  −98MATEシリーズ
  −98FELLOWシリーズ（PC-9801BA、BXは除く）
- コンポーネント入力の音声入力端子にDVDやデジタルCSチューナーを接続しているときは、DVDやデジタルCSチューナーの音声が聞こえることがあります。

音声コードについて

パソコン側の音声端子の形状と、モノラルかステレオのどちらに対応しているかを確認してください。
パソコン側の音声端子がモノラルミニジャックの場合はRK-G18/G105（別売り）などをお使いください。
パソコン側の音声端子がステレオミニジャックの場合はRK-129（別売り）などをお使いください。

パソコンの映像を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、PC/RGB入力（「PC/RGB」）を表示させる。
詳しくは、☞7、26ページをご覧ください。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

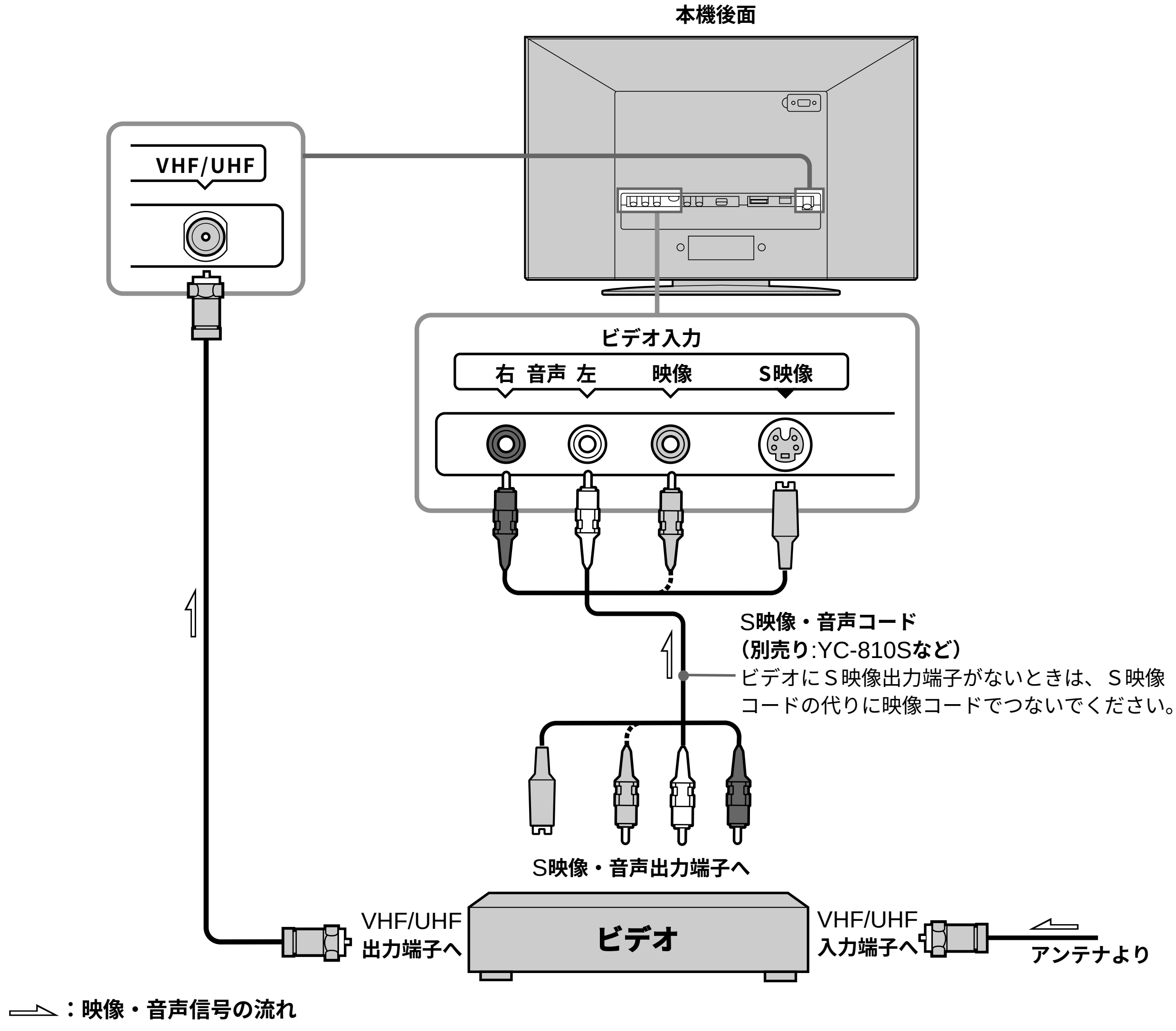
S映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

S映像端子につなげばよりよい映像でご覧いただけます。

ご注意

本機のビデオ入力のS映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、S映像入力端子から入力された画像が映ります。

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

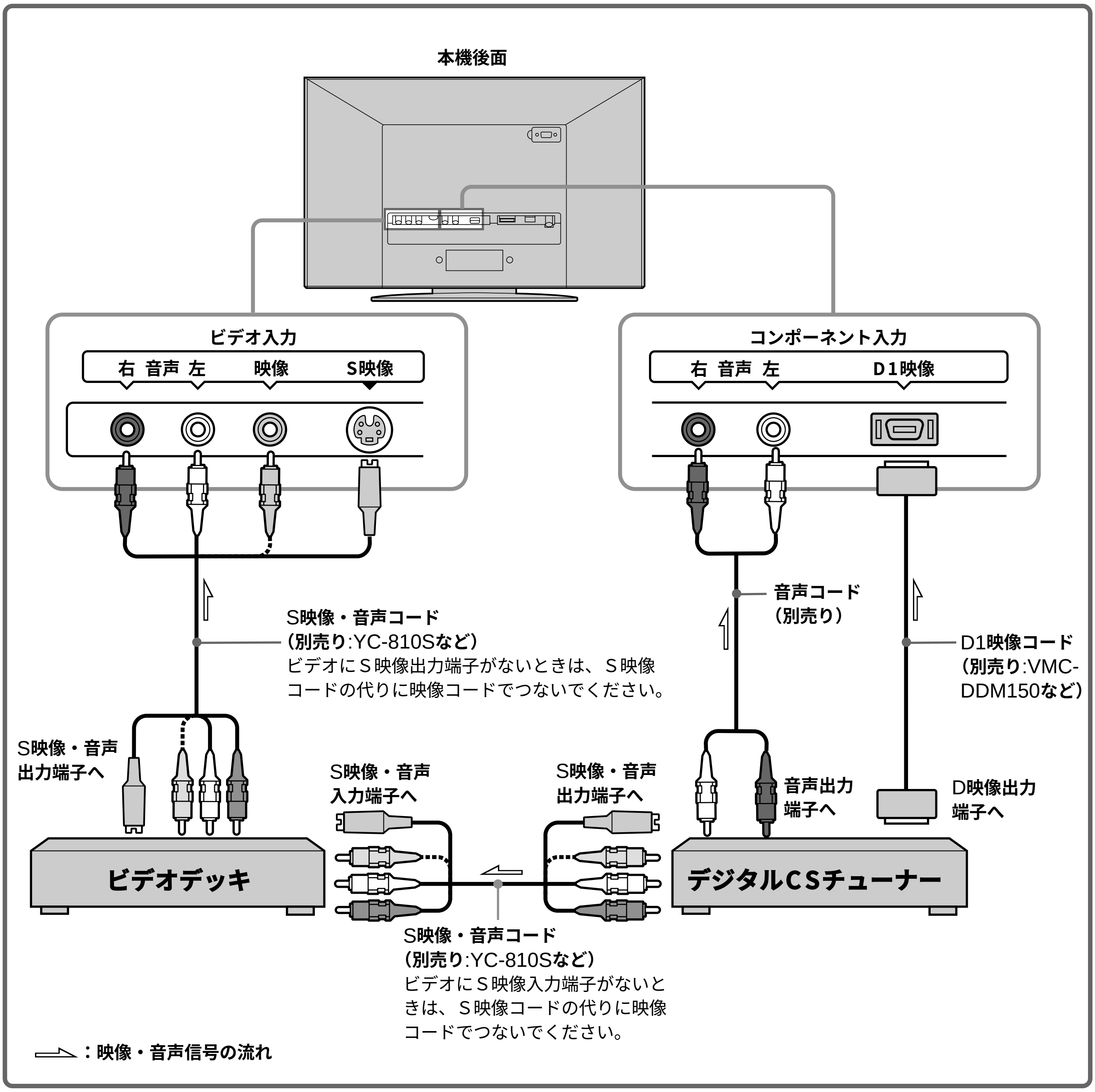


ビデオを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、ビデオ入力(「ビデオ」)を表示させる。
詳しくは、☞7ページをご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



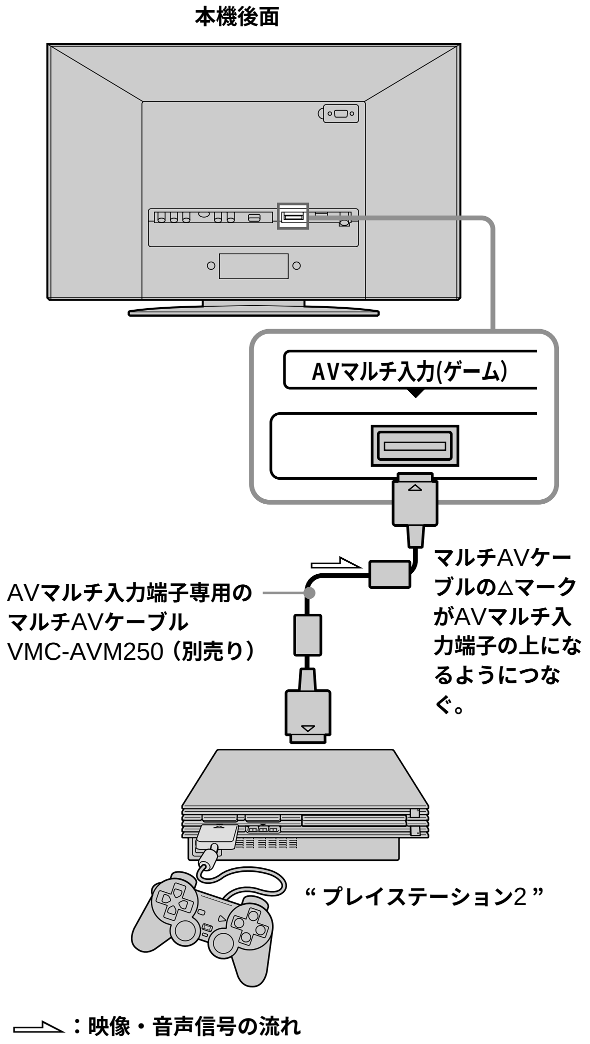
デジタルCS放送を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、コンポーネント入力(「Dコンポーネント」)を表示させる。
詳しくは、☞7ページをご覧ください。

“プレイステーション2”や“プレイステーション”をつなぐ

本機後面のAVマルチ入力（ゲーム）端子に“プレイステーション2”や“プレイステーション”をつなぎます。RGB接続になり、よりきれいな画像でゲームを楽しむことができます。“プレイステーション2”や“プレイステーション”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

“プレイステーション2”、“プレイステーション”は、（株）ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。



“プレイステーション2”をするには

1 **“プレイステーション2”側で、コンポーネント出力の設定を「RGB」にする。**

2 **本機の入力切換ボタンを繰り返し押して、AVマルチ入力（ゲーム）（「AVマルチ」にする。**
詳しくは、☞7ページをご覧ください。

“プレイステーション”をするには

本機の入力切換ボタンを繰り返し押して、AVマルチ入力（ゲーム）（「AVマルチ」）にする。詳しくは、☞7ページをご覧ください。

“プレイステーション2”や“プレイステーション”の画面の左右位置を調整をするには

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「(各種設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「PC/AVマルチ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「位置調整」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「左右位置調整」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で画面の左右位置を調整する。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

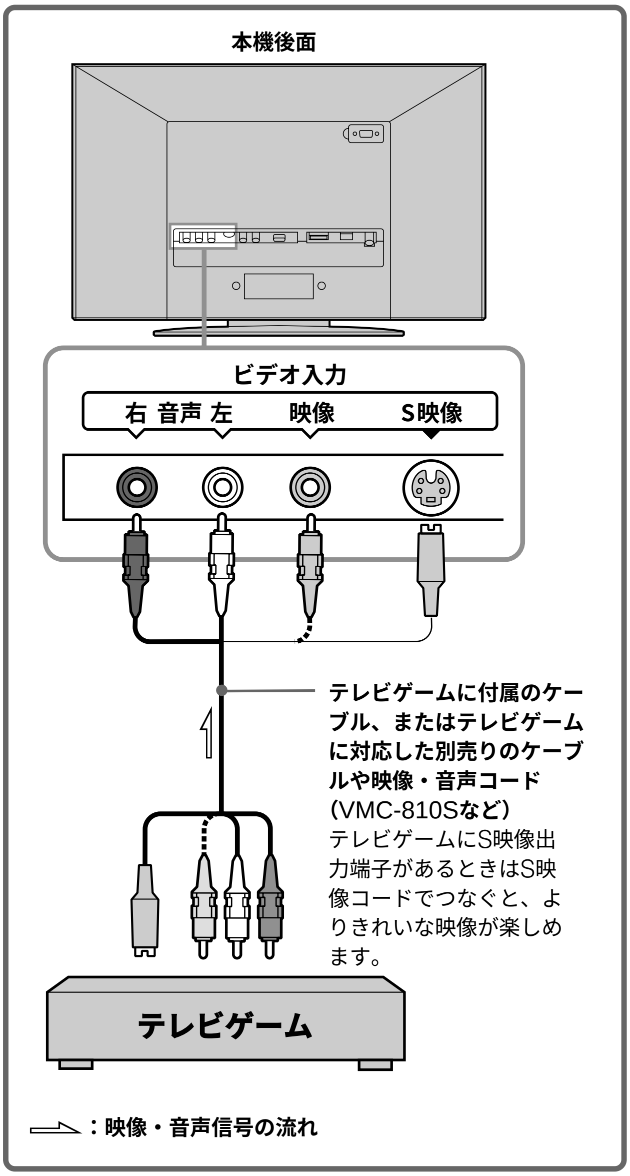
ご注意

- AVマルチ入力（ゲーム）端子はRGB映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、本機に影響はありません。
- 電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。
- AVマルチ画面の左右位置調整は入力切換ボタンで切り換えた「AVマルチ」の画像でのみ、調整できます。

次のページにつづく

その他のテレビゲームなどをつなぐ

本機後面のビデオ入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。



テレビゲームをするには

入力切換ボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力（「ビデオ」）を表示させる。
詳しくは、☞7ページをご覧ください。

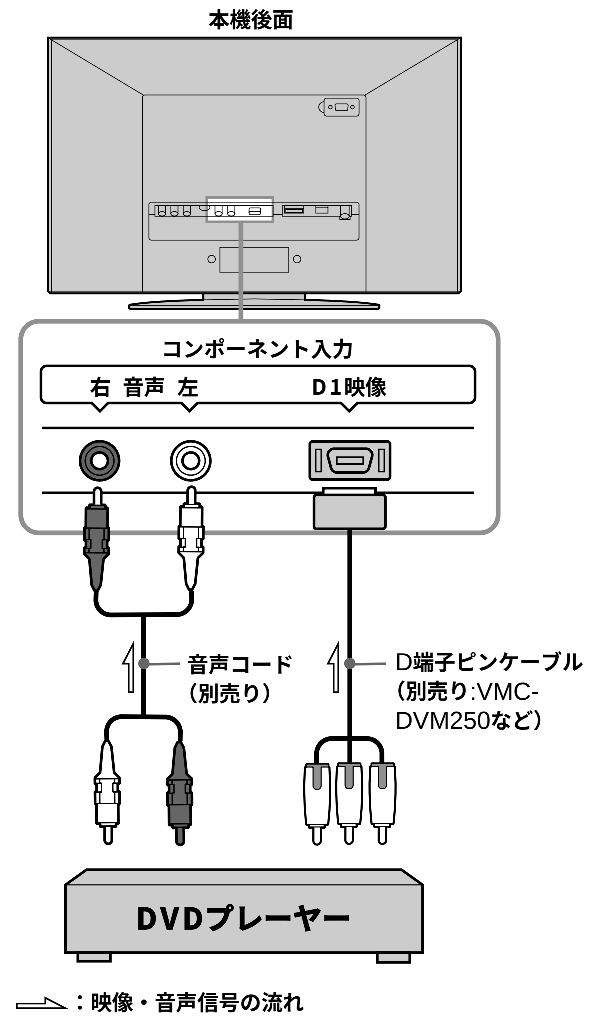
ご注意

- 電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のコンポーネント入力のD1映像端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

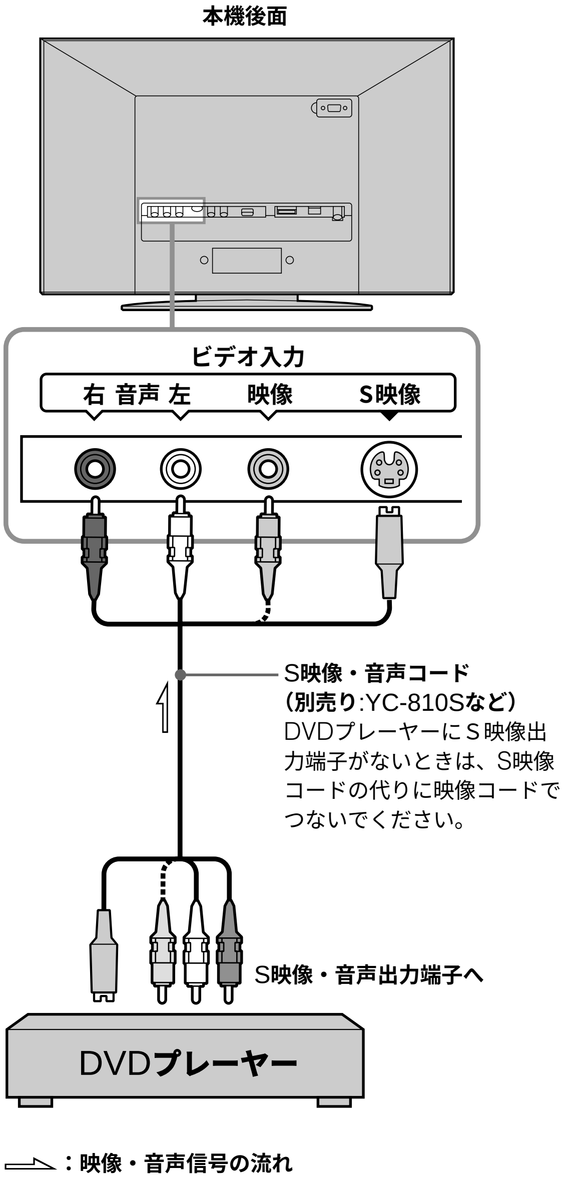
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは



DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名前が異なります。

DVDプレーヤーの映像端子
Y端子
C_B、B-Y端子
C_R、R-Y端子

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

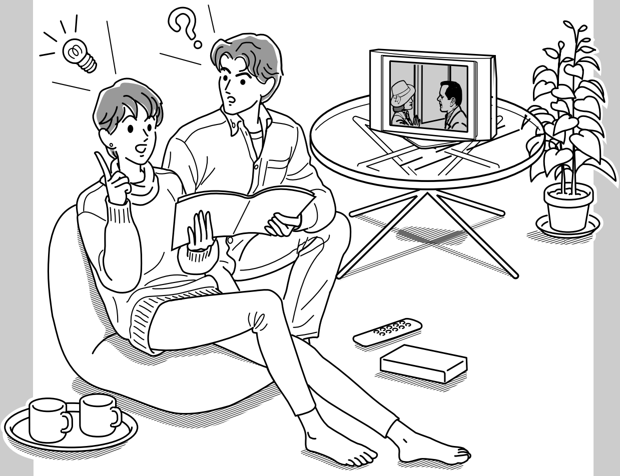


DVDを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「Dコンポーネント」）またはビデオ入力（「ビデオ」）を表示させる。
詳しくは、☞7ページをご覧ください。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

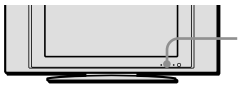


故障かな？と思ったら

自己診断表示

画面が消え、赤くスタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2 テレビ本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数を知らせてください。

本機の症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	• ACパワーアダプターと電源コードをしっかりつないでください。 • アンテナ接続ケーブルをしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください（☞40ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた。	• テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 • オフタイマーを設定していませんでしたか?（☞12ページ） • パワーセーブを設定していませんでしたか？（☞34ページ）
	つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換ボタンを押してください（☞7ページ）。
	「メモリースティック」の画像が出ない。	• 「メモリースティック」は正しく挿入されていますか？（☞16ページ） • MS再生ボタンを押してください（☞16ページ）。 • 「メモリースティック」に画像が記録されていますか？
きれいに映らない	**画像が二重、三重になる。** 	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。 	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。
	斑点や点模様が走る。 	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。 	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞6ページ）。 • メニューの「（画質/音質）」で画質を調整してください。 • 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります（☞6ページ）。
	画面がまぶしい。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞6ページ）。
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • メニューの「（各種設定）」の「音声設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください（☞11ページ）。

その他

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
メニューが選べない	**メニューで選べない項目がある。**	• 灰色で表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
「メモリースティック」が使えない	**「メモリースティック」に録画できない。**	• 誤消去防止スイッチを左側にしてください。（☞15ページ） • 本機はテレビ番組以外は録画できません。
	「メモリースティックエラー」という表示が出ている。	• 「メモリースティック」の異常です。「メモリースティック」を一度抜いて、入れ直してみてください。 • 他の「メモリースティック」を入れてみてください。
	「ファイルエラー」という表示が出ている。	• 静止画像ファイルが壊れています。壊れている静止画像ファイルを削除してください。
	「フォーマットエラー」という表示が出ている。	• 「メモリースティック」が正しくフォーマット（初期化）されていません。フォーマット（初期化）しなおす（☞25ページ）か、別の「メモリースティック」を入れてください。
	「再生できるファイルがありません」という表示が出ている。	• 「メモリースティック」に静止画像が1つも入っていません。「メモリースティック」に静止画像が記録されていますか？
	「ファイルがプロテクトされています」や「削除できるファイルがありません」という表示が出ていて削除できない	• 削除しようとしている静止画像は他機種によってプロテクト（誤消去防止）がかけられています。他機種でプロテクト（誤消去防止）されている静止画像を本機で削除することはできません。この静止画像にプロテクト（誤消去防止）をかけた機種で一度プロテクト（誤消去防止）を解除してから削除してください。
	「ファイルがありません」という表示が出ている。	• 「メモリースティック」に静止画像が1つも入っていません。「メモリースティック」に静止画像が記録されていますか？
	「メモリーの残量がありません」という表示が出る	• 「メモリースティック」がいっぱいです。不要な画像を削除する（☞23ページ）か、新しい空の「メモリースティック」を使ってください。
	「メモリースティックタイプエラー」という表示が出る	• 本機では使用できない大容量の「メモリースティック」です。
パソコンの画像が出ない	**「入力信号がありません」という表示が出る、またはパワーセーブランプ（オレンジ色）が点灯、またはパワーセーブランプ（オレンジ色）と電源ランプ（緑色）が点滅している**	• 全結線タイプのケーブルをお使いください。お手持ちのケーブルで信号が出ないときは、市販または別売りの全結線タイプのRGBケーブルをお買い求めください。 • RGBケーブルを正しくつないでください（☞45、46ページ）。 • RGBケーブルのピンが曲がっていませんか？まっすぐに直すか、別のケーブルを使ってください。 ■パソコンが原因の場合 • パソコンが省電力状態になっていませんか？キーボードのキーのどれかを押してみるか、マウスを動かしてみてください。 • パソコンの電源を入れてください。 • パソコンのグラフィックボードを正しいバススロットに差し込んでください。

症状		対処のしかた
パソコンの画像が出ない（つづき）	**「この表示モードには対応していません」という警告表示が出ている。**  	■パソコンが原因の場合 ● 入力信号の周波数は、本機の仕様に合っていますか？。本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、それにつなぎ換えてみてください。画像が出たら、入力信号のグラフィックモードと周波数が本機で使用できる範囲か確認し、設定しなおしてください（☞27ページ）。
	Windows95/98**の画像が出ない。**	● 本機とつなぎ換えたディスプレイがあるときは、つないでみてください。画像が出たら、以下の操作を行ってください。 Windows95/98のデバイス選択画面のスタンダードモニターまたは標準モニターの種類等で1024×768を選んでください。
	Macintosh**の画像が出ない。**	● Power Mac G3（1999年1月発売）より前に発売されたMacintoshコンピューターまたはその互換機を使用している場合は、市販のMacintoshコンピューター用変換アダプターを正しくつないでいるかを確認してください（☞45ページ）。
	NEC PC-98**シリーズの画像が出ない。**	● 変換アダプターが必要な場合、市販のPC-98シリーズ用アダプターを使っているかを確認してください（☞46ページ）。 ■パソコンが原因の場合 ● 本機で対応していない表示モード（水平周波数：24.8kHz、解像度：640x400ドット）になっていませんか？「GRAPH」「2」キーを同時に押しながらパソコンの電源を入れて、水平周波数を31.5kHzに変えてください（☞46ページ）。
パソコンの画像がきれいに映らない	**パソコンの画像がみだれる、ゆれる、ちらつく**	● メニューの「（各種設定）」の「PC/AVマルチ設定」で「ピッチ調整」または「フェーズ調整」を選び、調整してください（☞27ページ）。 ● 離れたところにある他の電源につないでみてください。 ■パソコンが原因の場合 ● パソコンのグラフィックボードで、本機が正しく設定されているかを確認してください。 ● パソコンのグラフィックモードが、本機で使用できる範囲かを表示モード一覧で確認してください（☞27ページ）。ただし本機で使用できる範囲でも、グラフィックボードによっては同期パルス幅が合わないため、きれいに画像を映せない場合があります。 ● パソコンのリフレッシュレート（垂直周波数）を、最適な画面になるように設定してください。
	パソコンの画像がくっきりしていない。	● メニューの「（画質/音質）」の「画質調整」で「ピクチャー」または「明るさ」を選び、調整してください（☞8ページ）。 ● メニューの「（各種設定）」の「PC/AVマルチ設定」で「ピッチ調整」または「フェーズ調整」を選び、調整してください（☞27ページ）。 ● 解像度800×600ドットなどの場合、画像を拡大することになり、解像度1024×768ドットの場合の画質と差が出ることがありますが、故障ではありません。本機では解像度1024×768ドットをおすすめします。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
パソコンの画像がきれいに映らない（つづき）	**パソコンの画像が二重、三重になる。**	● RGBケーブルの延長コードやインプットセレクタの使用をやめてください。 ● 接続ケーブルを端子にしっかりと差し込んでください。
	パソコンの画像の位置がずれている、または画像の大きさが正しくない。	● メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「サイズ調整」を選び、調整してください（☞29ページ）。 ● メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「位置調整」を選び、調整してください（☞30ページ）。入力信号やグラフィックボードによっては、画像が画面全体に広がらない場合があります。
	パソコンの画像が小さい。	■パソコンが原因の場合 ● パソコンの解像度を画面の解像度と同じにしてください。
	パソコンの画面に波模様や縦縞が出る。	● メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「ピッチ調整」または「フェーズ調整」を選び、調整してください（☞27ページ）。
	パソコンの画面に色むらがある。	● メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「ピッチ調整」または「フェーズ調整」を選び、調整してください（☞27ページ）。
	白色が白く見えない。	● メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「色温度調整」を選び、調整してください（☞32ページ）。
	しばらくすると、ディスプレイの電源が切れてしまう。	● メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「パワーセーブ」を選び、「切」にしてください（☞34ページ）。 ■パソコンが原因の場合 ● パソコンの省電力設定を「オフ」にしてください。
	パソコンの画像がずれる	● 環境条件により、フェーズがずれることがあります。 メニューの「(各種設定)」の「PC/AVマルチ設定」で「フェーズ調整」を選び、調整してください（☞27ページ）。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞42ページ）** ● メニューの「(各種設定)」の「テレビ設定」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞41ページ）** ● メニューの「(各種設定)」の「テレビ設定」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 ● チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1〜12チャンネル UHF 13〜62チャンネル CATV C13〜C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
画面寸法	30.4×22.8cm、38.0cm （幅×高さ、対角）
LCD パネル	a Si TFTアクティブマトリックス
有効画素率	99.99%
表示画素数	水平　1024ドット 垂直　768ライン
使用スピーカー	3.5×6.5cm 楕円×4
音声出力	実用最大 3W×2（EIAJ）、10Ω

入出力端子

アンテナ端子	VHF/UHF、75Ω F型コネクター
ビデオ入力端子	S映像:4ピンミニDIN Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像: ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声: ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
コンポーネント入力端子	D1映像: Y:1Vp-p（0.3V負同期付き） C_B/C_R:±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 音声: ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AVマルチ入力（ゲーム）端子	12ピン
「メモリースティック」差込口	再生: 静止画JPEG 録画: 静止画JPEG
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス16Ω以上
PC/RGB入力	RGB動作周波数 水平:31.5-60.2kHz 垂直:60-85Hz（1024×768は75Hzまで） プラグ&プレイ機能:DDC1/DDC2B

電源部・その他

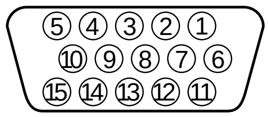
消費電力	50W（「消費電力：減」のとき　約41W） （リモコン待機時 4.5W）
最大外形寸法	スタンド含む:49.4×32.0×18.7cm （幅×高さ×奥行き） スタンドなし:49.4×29.7×7.4cm
質量	約6.5kg（スタンド含む） 約5.4kg（スタンドなし）
電源	使用電源:AC100V、50/60Hz （ACパワーアダプター使用） 入力電源:DC18V （ACパワーアダプター使用）
付属品	リモートコマンダー　RM-J251（1） 乾電池　単3形（2） ACパワーアダプター　AC-FD1500（1） 電源コード（1） アンテナ接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 安全のために（1）

別売りアクセサリー

小型IC記録メディア「メモリースティック」
MSA-8AN（8MB）、MSA-16AN（16MB）、MSA-32AN（32MB）、MSA-64AN（64MB）など
液晶テレビ用壁取付金具　SU-F1500
ステレオヘッドホン　MDR-AV55など
RGBケーブル　SMF-401
または市販の全結線タイプのケーブル
AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル
VMC-AVM250
接続ケーブルなど

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

PC/RGB入力端子ピン配列



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	R（赤）	9	DDC + 5V *
2	G（緑）	10	アース
	(Sync on Green)	11	ID（アース）
3	B（青）	12	データライン
4	ID（アース）		(SDA) *
5	DDCアース *	13	水平同期
6	R（赤）アース	14	垂直同期
7	G（緑）アース	15	クロックライン
8	B（青）アース		(SCL) *

* VESAによるDisplay Data Channel（DDC）規格

表示モード一覧

モード	解像度（ドット×ライン）	水平周波数	垂直周波数	グラフィックモード
1	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	VGA-G
2	640 × 480	35.0 kHz	67 Hz	Macintosh 13" カラー
3	640 × 480	37.5 kHz	75 Hz	EVGA
4	640 × 480	43.3 kHz	85 Hz	VESA
5	720 × 400	31.5 kHz	70 Hz	VGAテキスト
6	720 × 400	37.9 kHz	85 Hz	VESA
7	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	SVGA
8	800 × 600	46.9 kHz	75 Hz	ESVGA
9	800 × 600	53.7 kHz	85 Hz	VESA
10	832 × 624	49.7 kHz	75 Hz	Macintosh 16" カラー
11	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	VESA
12	1024 × 768	56.5 kHz	70 Hz	VESA
13	1024 × 768	60.0 kHz	75 Hz	EUVGA
14	1024 × 768	60.2 kHz	75 Hz	Macintosh 19" カラー

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、液晶カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：FDL-1500MX1

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

使用上のご注意

電源についてのご注意

付属のACパワーアダプターをお使いください。

使用・設置場所についてのご注意

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときは必ず専用のブラケット（別売り）を使用してください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

「メモリースティック」についてのご注意

「メモリースティック」の挿入口に金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

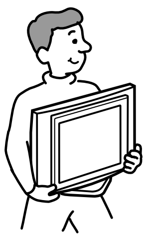
画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れについてのご注意

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずしてください。
  落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、図のように左右側面の下を持ち支えるようにしてください。



廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
- **本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

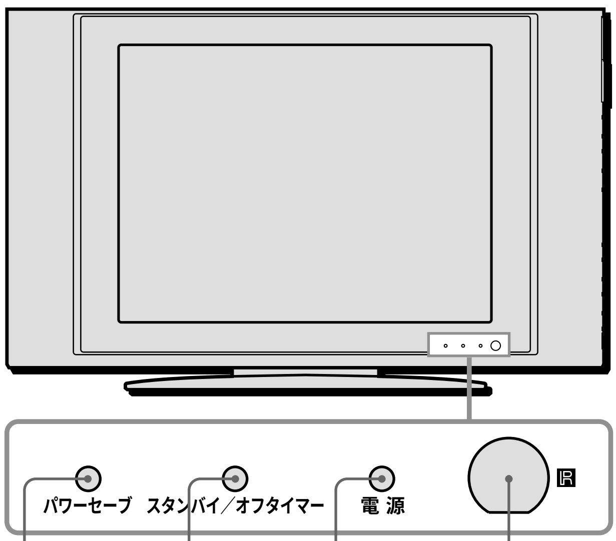
⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

各部の名前/
Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel



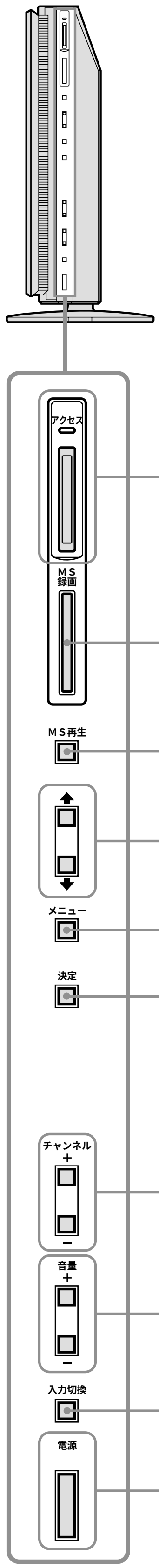
電源ランプ
Power indicator

スタンバイ/オフタイマーランプ☞5、52ページ
Standby/Off Timer indicator
pages 5, 52

リモコン受光部
Remote Control sensor

パワーセーブランプ☞34ページ
Power Saving indicator
pages 34

本機右側面/TV Right Side Panel



「メモリースティック」アクセスランプ/差込口☞16ページ
“Memory Stick” Access indicator/ slot
page 16

MS録画ボタン☞18ページ
MS Recording button page 18

MS再生ボタン☞7、16ページ
MS Play button page 7, 16

⬆/⬇ボタン☞8ページ
⬆/⬇ buttons page 8

メニューボタン☞8ページ
Menu button page 8

決定ボタン☞8ページ
Enter button page 8

チャンネル+/−ボタン☞5ページ
Channel +/– buttons page 5

音量+/−ボタン☞5ページ
Volume +/– buttons page 5

入力切換ボタン☞7ページ
Input Select button page 7

電源スイッチ☞5ページ
Power switch page 5

リモコン/Remote Control

消音ボタン☞4ページ
Mute button page 4

画面表示ボタン☞4ページ
Display button page 4

入力切換ボタン☞7ページ
Input Select button page 7

チャンネル数字ボタン ☞5ページ
Channel Number buttons page 5

二重音声ボタン☞11ページ
Audio mode (Bilingual) button page 11

オフタイマーボタン ☞12ページ
Off Timer button page 12

「メモリースティック」用ボタン
MS再生ボタン☞7、16ページ
MS録画ボタン☞18ページ
インデックスボタン ☞18ページ
スライドショーボタン ☞20ページ
"Memory Stick" buttons
MS Play button page 7, 16
MS Recording button page 18
Index button page 18
Slide Show button page 20



電源スイッチ☞5ページ
Power switch page 5

消費電力ボタン☞6ページ
Power Saving button page 6

お好み画質ボタン☞6ページ
Favorite Picture button page 6

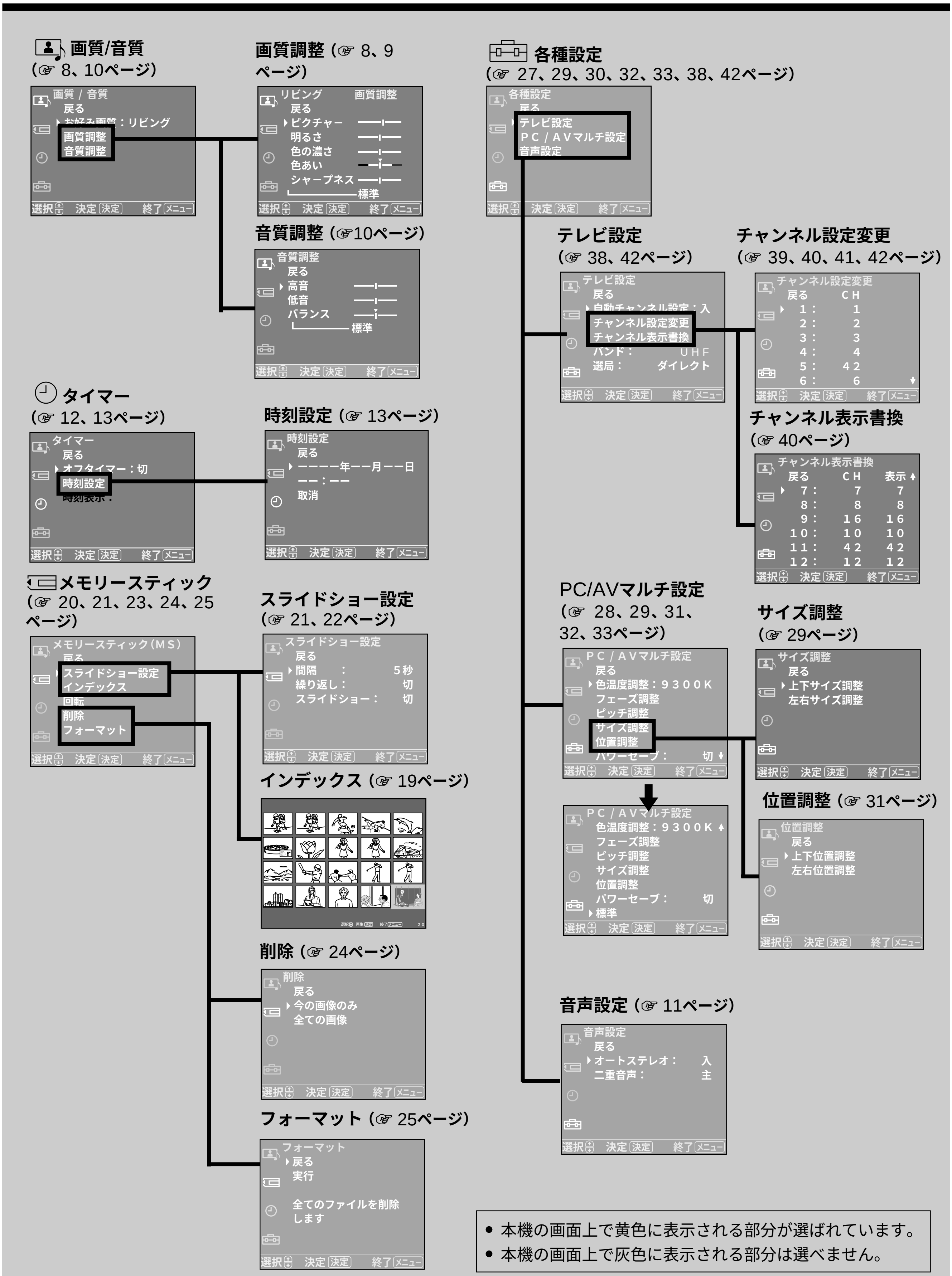
チャンネル+/−ボタン☞5ページ
Channel +/– buttons page 5

音量+/−ボタン☞5ページ
Volume +/– buttons page 5

メニュー/↑/↓/決定ボタン ☞8ページ
Menu/↑/↓/Enter buttons page 8

その他

メニュー一覧



- 本機の画面上で黄色に表示される部分が選ばれています。
- 本機の画面上で灰色に表示される部分は選べません。

索引

五十音順

数字・アルファベット順

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル………………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Printed in Japan

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。